

二次元コードリーダー ユーザーズガイド

対応機種

slimQR Series
cubeQR Series



ウェルコムデザイン株式会社 URL: www.e-welcom.com
e-mail: welcom@e-welcom.com

本社 〒651-2242 神戸市西区井吹台東町1-1-1 西神南センタービル
サポートデリバリーセンター (SDC) 〒651-2102 神戸市西区学園東町6丁目2-3-1F
TEL. 078-993-6010 (代) FAX. 078-993-6020 [本社 & SDC]
東京営業所 〒113-0034 東京都文京区湯島3-14-9 湯島ビル
TEL. 03-3836-9411 (代) FAX. 03-3836-9412

[illegible]

1. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
2. 本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
3. 本書内に記載されている製品名等の固有な名詞は各社の商標又は登録商標です。
4. 本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
5. 運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

製品保証と注意事項

「保証期間」

本製品の保証期間は、ご購入日より1ヶ年とさせていただきます。

「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

- 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
- 故障の原因が納入者以外の事由による場合
- 外装部品の損傷
- 自然劣化・消耗部品
- 需要者側で改造・修理を行った場合
- 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

「修理」

修理は全てドック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

「電波障害自主規制について」

本装置は米国通信規制「FCC 第15条補足J」による計算機器制約条件に適合しております。商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、住宅地域でのご使用は妨害（ラジオ・テレビなどの受信障害）が起こることがあります。

「その他」

- 納入品の価格には、サービス費用は一切含んでおりません。

安全上の注意

- ✧ ご使用の前に本書をお読みになり、正しく安全にご使用ください。
- ✧ 本書は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。



使用上の注意

- ✓ レーザ照射窓を覗いたり、レーザービームを直視することは絶対にしないでください。
- ✓ 分解・改造しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
- ✓ ガス・火薬など可燃性物質が発生する場所での使用はしないでください。破裂・発火・火災の原因となります。
- ✓ 衝撃を与えたり、落としたり、本機の上に物を置いたりしないでください。
- ✓ 小児の手の届くところに置いたり、使用させないでください。
- ✓ 雨や水などがかかる場所で使用しないでください。
- ✓ ストラップを持って振り回したりしないでください。破損やけがの原因となります。
- ✓ 炎天下の車内や冷凍庫など高温・低温になる場所には放置しないでください。
- ✓ 湿度の高い場所や誇りの多い場所には放置しないでください。
- ✓ 使用温度範囲内で使用してください。
- ✓ 静電気の起こりやすい場所やテレビなどの磁気が発生する機器のそばには置かないでください。
- ✓ 安定しない場所に放置、保管しないでください。
- ✓ 低温の場所から高温の場所へ移動すると、結露が発生する恐れがあります。結露が発生した場合は、水滴が完全に蒸発するまで、本機をしようしないでください。
- ✓ 本機のクリーニングは、柔らかい布で軽くからぶきするか、中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞ってから軽く拭いてください。

充電機および充電器・充電に関する注意（前項目に加え、下記の事項に注意ください）

- ✓ 付属のACアダプタ以外は、絶対に使用しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
- ✓ 異物を入れないでください。ショートや発熱により、火災・感電の恐れがあります。
- ✓ ACプラグや電源コードを引っ張ったり、ねじったり、負荷をかけたり、加工したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- ✓ ACプラグや電源コードが傷んだ場合は、すぐに新しいものと交換してください。火災・感電の原因となります。
- ✓ 濡れた手で電源の抜き差しを行わないでください。感電の原因となります。
- ✓ 充電は、必ず0~40℃の温度範囲で行ってください。
- ✓ 指定以外の充電機を使用しないでください。
- ✓ 充電機は、デバイスから取り外し、金属などが無い0~40℃の温度範囲の場所に保管してください。
- ✓ 充電機を充電しても動作時間が短い場合は、充電機の寿命です。新しい充電機をお求めください。
- ✓ ご不要になった充電機を廃棄する場合は、各自治体の条例に従い、正しく処理してください。

INDEX

1. はじめに	8
2. パッケージ内容の確認	8
3. 外観と各部名称	8
4. コピュータとの接続	9
4.1. RS232C インターフェイス接続	9
4.2. USB インターフェイス接続	9
5. コードの読み取り方法	10
読み取り深度参考値	10
読み取りフィールド 角度と解像度	10
6. カスタムエラーと工場エラー	11
カスタムエラーの設定	11
カスタムエラー(工場エラー)に初期化	11
カスタムエラーの削除	11
7. インターフェイスの設定	12
インターフェイス設定	12
RS232C インターフェイス	12
USB IBM SurePos インターフェイス	12
USB キーボード インターフェイス	12
USB HID-POS インターフェイス	13
USB シリアルインターフェイス(USB-COM)	13
キーボードオプション	13
各国キーボードレイアウト	13
Caps/Shift Lock ステータス	14
アルファベットデータの太文字・小文字変換	14
数字データのテンキー送信	14
RS232C オプション	15
ボーレート	15
データフォーマット(データビット/ストップビット/パリティ)	16
RTS/CTS 7D-制御	17
RTS/CTS タイムアウト	17
XON/XOFF 制御	19
ACK/NAK ハンドシェイク	19
8. インデクサ・読み取り・データフォーマットに関する設定	20
インデクサの設定	20
パワーアップブザー	20
BEL キャラクタ受信時ブザー	20
トリガ クリックブザー	20
グッドリードブザー	20
グッドリードブザー-音量	21
グッドリードブザー-周波数	21
グッドリードブザー-長	21
グッドリードブザー-回数	22
グッドリードデレイ	23
カスタムグッドリードデレイ	23
エラーブザー-周波数	25
エラーブザー-回数	25
グッドリード LED	25
マルチトリガモードの設定	27
LED 照明(マルチトリガモード)	27
シリアルトリガモードの設定	27
読み取りタイムアウト	27
フレキシブルモードの設定	29
LED 照明(フレキシブルモード)	29
コード検知感度	29
フレキシブルセンシタリティー	31
読み取りに関する設定	33
低品質 1 次元コード読み取り	33
低品質 PDF コード読み取り	33
携帯電話読み取りモード	33
ハズレリタイルアウト	33
同一コード読み取り防止タイマー	35

同一コード 読取防止カスタムタイマー	35
同一 2 次元コード 読取防止タイマー	35
カスタムキャラクターリガモード	37
照明 LED	39
イマーデイルイ	39
カスタムイマーデイルイ	39
イマー	41
ノーリッド	41
反転(初)コード 読み取り	41
セトリソグ(ハットハルトモード)	42
コードの向き	44
データフォーマットの設定	45
プリフィックス/サイフィックスとは	45
クイック設定(サイフィックス Enter)	45
プリフィックス/サイフィックスの設定	45
ファンクションコード 送信	47
キャラクター間デイルイ	47
指定キャラクターデイルイ	47
コントロールキャラクターデイルイ	49
メッセージ 間デイルイ	49
データフォーマットデイルイ	51
ターミナル ID 表	51
データフォーマットの登録	52
データフォーマットデイルイ	52
データフォーマットの有効化	62
基本データフォーマットと代替データフォーマット	62
9. 読取コードの設定	63
全コード	63
コードバー(NW7)	64
コード 39	66
インターリーブド 2 オフ 5	68
NEC 2 オフ 5	70
コード 93	72
インダストリアル 2 オフ 5	72
IATA 2 オフ 5	74
マトリクス 2 オフ 5	74
コード 128	76
GS1-128	76
UPC-A	78
UPC-E	79
EAN/JAN-13	80
EAN/JAN-8	81
MSI	82
GS1 Databar Omnidirectional	84
GS1 Databar Limited	84
GS1 Databar Expanded	84
Codablock A	86
Codablock F	86
PDF417	88
MicroPDF417	88
GS1 Composite	90
GS1 アイミルソグ	90
TLC39	92
QRコード	92
Data Matrix	94
MaxiCode	94
Aztecコード	96
MaxiCode	96
郵便コード	98
10. イメージングフォーマット	99
フォーマット 書式	99
イメージを撮影する: イメージスナップフォーマット - IMGSNP	99
イメージを送信する: イメージシップフォーマット - IMGSHIP	102
11. シリアルフォーマット	109
メニューフォーマットの書式	109
クエリフォーマット	109

クエリコマンド 例	110
メニューコマンド リスト	111
12. システムコマンド	122
フリップスとしてコード ID を付加	122
デコード光ビーム取得	122
スキャンライバ光ビーム取得	122
ソフトウェア光ビーム取得	122
データフォーマット取得	122
テストメニュー送信	123
デフォルト初期化	123
プラグインアプデケーション	123
13. トラブルシューティング	124
電源が入らない	124
コードを読み取らない	124
コードを読み取りづらい	124
PC にデータが入らない	124
その他	124
補足 A. コードシンボル表	125
A.1. 1次元コードシンボル&特殊コード	125
A.2. 2次元コードシンボル	126
A.3. 郵便コードシンボル	126
補足 B. ASCII コード変換表	127
補足 C. キー番号表	129
補足 D. RS232C インターフェイスのピン配列	130
補足 E. cubeQR の外形寸法と取付穴	130
補足 F. サンプルコード	131
修理依頼書	132

1. はじめに

この度は、弊社 diBar 二次元コードリーダシリーズ（以下、リーダ）をお買い上げいただきありがとうございます。
本書は、リーダの正しくご利用いただくために用意されたユーザーガイドです。基本的な導入方法に関しては、製品に同梱されている導入ガイドを参照ください。

本書に掲載しているコマンドバーコードを読み取ることで、リーダのインターフェイスや読み取りに関するパラメータ設定が行えます。
設定されたパラメータは、不揮発性メモリに保存されるため、電源を切にして設定が消えることはありません。

尚、本書では日本国内での使用が無いと思われる一部設定を割愛しております。記載に無い設定についても、個別に対応させていただきますので、お気軽に弊社又は販売店までご相談ください。また、特殊なデータ加工やデータ照合など、お客様専用のソフトウェア開発も可能です。

2. パッケージ内容の確認

パッケージには、下記のものが含まれています。欠品、破損などありましたら、お手数ですが販売店までご連絡をお願いします。

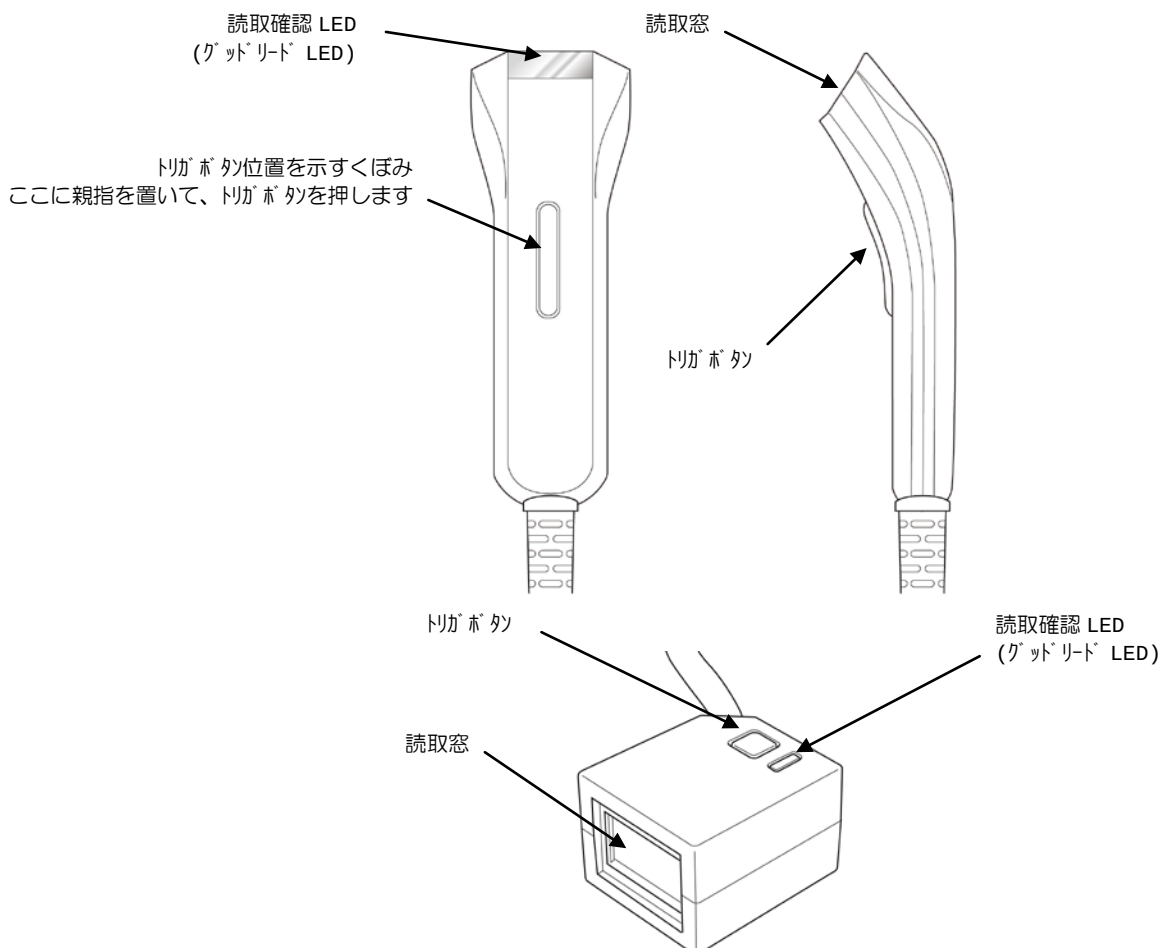
- リーダ本体（インターフェイスケーブル付）
- 導入ガイド

以下、オプションとしてご購入された場合に付属します。

- ACアダプタ
- ホルダー
- オートスタート

尚、個装箱は、修理品送付時の破損を避けるために必要となりますので、大切に保管するようお願いします。

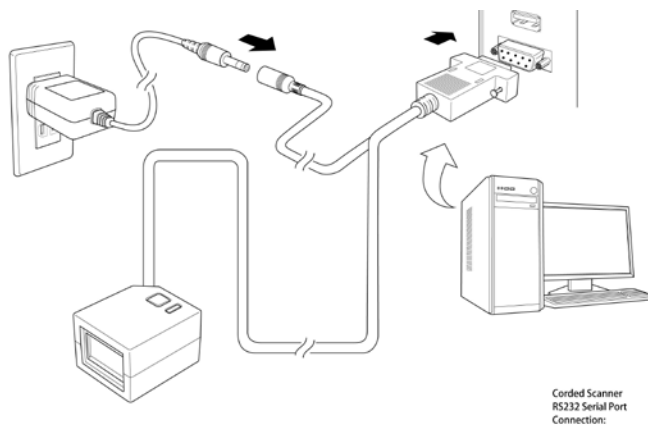
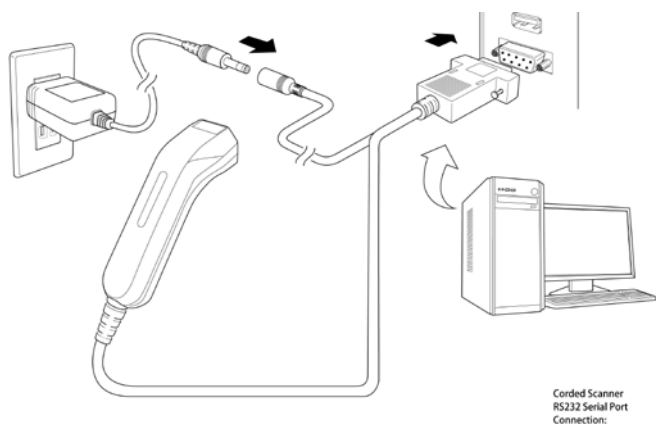
3. 外観と各部名称



4. コンピュータとの接続

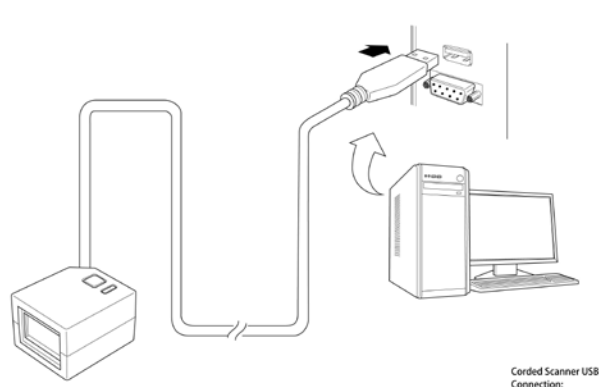
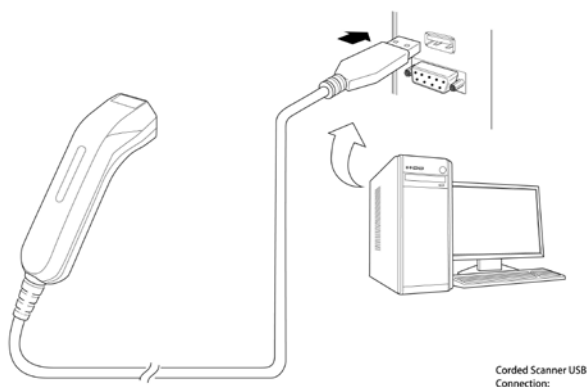
4.1. RS232C インターフェイス接続

下図を参照して、リーダと PC を正しく接続してください。AC アダプタを使用する場合は、必ず弊社指定の AC アダプタを使用してください。



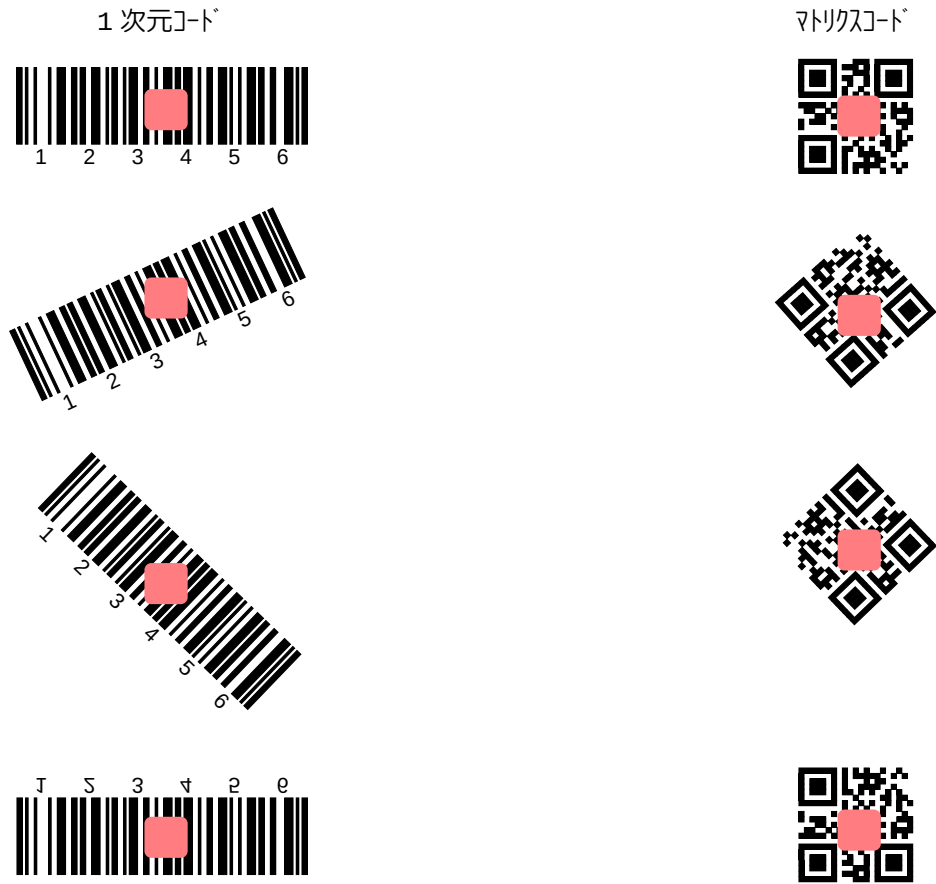
4.2. USB インターフェイス接続

下図を参照して、リーダと PC を正しく接続してください。



5. コードの読み取り方法

リーダは、目的コードに照準を合わせやすくするための赤色レーザーを照射します。下図のように、このレーザーの中心がコードの中央になるよう照射してください。360度の読み取りが可能のため、コードの角度に気を付ける必要はありません。



読取深度参考値

コードシンボル	近距離読み取り	遠距離読み取り	読取深度
コード 39(0.127mm)	61mm	130mm	69mm
コード 39(0.508mm)	60mm	380mm	320mm
UPC100%(0.33mm)	55mm	280mm	225mm
PDF417(0.17mm)	60mm	125mm	65mm
Data Matrix(0.254mm)	60mm	130mm	70mm
QRコード (0.508mm)	50mm	230mm	180mm

上記の値は、下記の条件下で測定した参考値(実力値)であり、保証値ではありません。コード品質や周囲照度など運用環境により異なるため、実運用環境にて、事前に最適な読み取り距離を検証するようお願いします。

- ✓ リーダの読取ウィンドウからの距離
- ✓ 周囲照度 535lux, 室温 23℃
- ✓ 高品質な規準コードを使用

読取フィールド 角度と解像度

方向	角度	解像度
水平方向	+/- 18.9°	640ピクセル
垂直方向	+/- 14.4°	180ピクセル

6. カスタムデフォルトと工場デフォルト

カスタムデフォルトの設定

リーダーには、ユーザーに応じたカスタムデフォルトを保存し、呼び出す機能があります。下記に手順を示します。

1. 下記の「カスタムデフォルト設定開始」コードをスキャンします。



2. 続いて、本章以降を参照して、パラメータ設定を行います。
パラメータによっては、続けて、「数値」コードのスキャンが必要となります。「数値」コードをスキャンした場合は、最後に「確定」コードをスキャンして、設定を確定してください。
3. 全ての設定が終われば、下記の「カスタムデフォルト設定終了」コードをスキャンします。
もし、カスタムデフォルトの変更を行いたい場合は、手順 1 から再度やり直します。



カスタムデフォルト(工場デフォルト)に初期化

リーダーをカスタムデフォルトで初期化する場合は、下記の「デフォルト」コードをスキャンします。先の手順でカスタムデフォルトが設定されていない場合は、工場デフォルトで初期化されます。



カスタムデフォルトの削除

リーダーに設定済みのカスタムデフォルトを削除する場合は、下記の「カスタムデフォルト削除」コードをスキャンします。続けて、上記の「デフォルト」コードをスキャンすると、リーダーは、工場デフォルトで初期化されます。



7. インターフェイスの設定

インターフェイスquick設定

RS232C インターフェイス

下記のコードをスキャンすると、リーダをRS232C インターフェイスに初期化します。

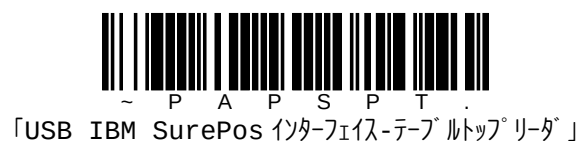


同時に各パラメータも下表のように初期化されます。

パラメータ	設定値
ポート	115,200bps
データフォーマット	データビット 8, パリティ無し, ストップビット 1
サフィックス	CR/LF
トリガモード	マルチトリガ

USB IBM SurePos インターフェイス

下記の何れかのコードをスキャンすると、リーダをUSB IBM SurePos に初期化します。



同時に各コードのサフィックスも下表のように初期化されます。

コード	サフィックス	コード	サフィックス
EAN8	0C	コード 39	00 0A 0B
EAN13	16	インターリーブド 2/5	00 0D 0B
UPCA	0D	コード 128	00 18 0B
UPCE	0A	コード 39	00 0A 0B

USB キーボード インターフェイス

下記の何れかのコードをスキャンすると、リーダをUSB キーボード インターフェイスに初期化します。



日本語キーボードの場合は、上記の「英語キーボード」に続けて、下記の「日本語キーボード」をスキャンします。



USB HID-POS インターフェイス

下記のコードをスキャンすると、リーダーを USB HID-POS インターフェイスに初期化します。



USB シリアルインターフェイス(USB-COM)

下記のコードをスキャンすると、リーダーを USB シリアルインターフェイスに初期化します。Windows® PC でご利用の場合は、弊社 WEB サイトより専用ドライバをダウンロードください。Mac PC の場合、CDC クラスデバイスとして認識され、自動的にクラスドライバが適用されます。



オプションパラメータとして、ACK/NAK ハンドシェイクの設定が行えます。



「参考」

ポートなどのパラメータ設定は必要ありません。

キーボードオプション

各国キーボードレイアウト

ご使用の PC に合ったキーボードレイアウトを設定してください。本書に記載の無いキーボードレイアウトの設定は、お手数ですが、弊社までお問い合わせください。



Caps/Shift Lock 設定

ご使用の PC に合った Caps/Shift Lock 設定を設定してください。



アルファベットの大文字・小文字変換



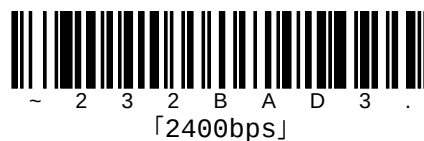
数字データのキー送信

数字データをキーデータとして送信したい場合は、「キー送信 有り」に設定します。



RS232C 波特率

波特率



データフォーマット(データビット/ストップビット/パリティ)



「データビット 7/ストップビット 1/パリティ 偶数」



「データビット 7/ストップビット 1/パリティ 無し」



「データビット 7/ストップビット 1/パリティ 奇数」



「データビット 7/ストップビット 2/パリティ 偶数」



「データビット 7/ストップビット 2/パリティ 無し」



「データビット 7/ストップビット 2/パリティ 奇数」



「データビット 8/ストップビット 1/パリティ 偶数」



「データビット 8/ストップビット 1/パリティ 無し」



「データビット 8/ストップビット 1/パリティ 奇数」



「データビット 8/ストップビット 1/パリティ マーク」

RTS/CTS 7D-制御



「RTS/CTS 7D-制御 有り, タイムアウト 無し」

RTS/CTS 7D-制御 有り, タイムアウト 無し

リーダは、データ送信前に RTS ラインを ON にし、CTS ラインが ON によって ON にされるのを待ちます。

2 方向 RTS/CTS 7D-制御 有り

リーダは、データを受信可能な時 RTS ラインを ON にし、ホストはデータを受信可能な時 CTS ラインを ON にします。



「2 方向 RTS/CTS 7D-制御 有り」



「RTS/CTS 7D-制御 有り, タイムアウト 有り」

RTS/CTS 7D-制御 有り, タイムアウト 有り

リーダは、データ送信前に RTS ラインを ON にし、CTS ラインが ON によって ON にされるのを待ちます。タイムアウト値は、次の「RTS/CTS タイムアウト」で設定します。

RTS/CTS 7D-制御 無し

RTS/CTS 7D-制御を行いません。



「**RTS/CTS 7D-制御 無し**」

RTS/CTS タイムアウト

下記の「RTS/CTS タイムアウト」をスキャンし、続けて、次頁の「数字」ドット表からタイムアウト値をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定可能な範囲は、1~5100 で、単位はミリ秒です。



「RTS/CTS タイムアウト」

例) 100 ミリ秒に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「RTS/CTS タイムアウト」→「1」「0」「0」→「確定」

数字コード表



XON/XOFF 制御

XON キャラクタ(DC1, 11hex)と XOFF キャラクタを使って、データ送受信を制御します。ホストから XOFF キャラクタを受信すると、リーダーは送信を中断し、XON キャラクタを受信すると、再開します。



ACK/NAK ハンドシェイク

リーダーはデータ送信後、ホストからの ACK キャラクタ(06hex)又は NAK キャラクタ(15hex)を待ちます。ACK キャラクタを受信すると、送信を完了し、次のスキャンが行える状態になります。NAK キャラクタを受信すると、データを再送し、再びホストからの ACK/NAK 応答を待ちます。



8. インデクサ・読み取り・データフォーマットに関する設定

インデクサの設定

パワーアップブザー



BEL キャラク受信時ブザー

リーダーは、BEL キャラク(07hex)を受信すると、ブザーを鳴らします。



トリガ クリックブザー

リーダーのトリガを引くと、ブザーを鳴らします。

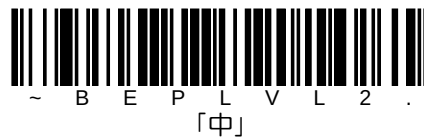


グッドリードブザー

リーダーは、コードの読み取りに成功すると、ブザーを鳴らします。



グッドリードブザー音量



グッドリードブザー周波数



(*)上記以外の周波数に設定することも可能です。弊社までお問い合わせください。

グッドリードブザー長

グッドリード LED も連動して点灯します。



グッドリードブザー回数

下記の「グッドリードブザー回数」をスキャンし、続けて、下記の「数字コード表」から回数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定可能な範囲は、1~9 で、デフォルトは、1 です。尚、ここで設定した回数、グッドリード LED も連動して点灯します。



数字コード表



グットリード Delay

リーダーが次のコードをスキャンするまでのデレイタイムを設定します。任意のデレイタイムを設定したい場合は、次の「カスタムグットリードデレイ」で行います。



カスタムグットリードデレイ

下記の「カスタムグットリードデレイ」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」からデレイタイムをスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定可能な範囲は、0~30000 で、単位はミリ秒です。



例)デレイタイムを 10 秒に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「カスタムグットリードデレイ」→「1」「0」「0」「0」→「確定」

数字コード表



エラーバー周波数



~ B E P F Q 2 2 5 0 .
「250Hz, 低音」



~ B E P F Q 2 3 2 5 0 .
「3250Hz, 中音」



~ B E P F Q 2 4 2 0 0 .
「4200Hz, 高音」

エラーバー回数

下記の「エラーバー回数」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から回数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。
設定可能な範囲は、1~9 で、デフォルトは、1 です。尚、ここで設定した回数、エラー LED も連動して点滅します。



~ B E P E R R .
「エラーバー回数」

例)9 回に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「エラーバー回数」→「9」→「確定」

グッドリード LED

リードは、コードの読み取りに成功すると、LED を点灯します。



~ B E P L E D 1 .
「グッドリード LED 点灯 有り」



~ B E P L E D 0 .
「グッドリード LED 点灯 無し」

数字コード表



マニュアルリガモードの設定

下記のコードをスキャンすると、リーダーはマニュアルリガモードで動作します。



LED 照明(マニュアルリガモード)

リーダーが、コード読み取り時に発光する LED 照明の明るさを設定します。



「参考」

LED 照明は、カメラのフラッシュに相当します。照明が少ない暗めの部屋では、LED 照明をより明るくすることで、リーダーがコードを正しく認識できるようになります。

シリアルリガモードの設定

リーダーは、読取開始コマンドを受信すると、コードの読み取りを開始します。リーダーは、コードを正しく読み取るか、読取終了コマンドを受信すると、読み取りを終了します。また、次の「読取タイムアウト」を設定することで、設定時間で読み取りを終了させることができます。

読取開始コマンド : SYN T CR
読取終了コマンド : SYN U CR

(*) SYN=16hex, T=54hex, U=55hex, CR=0Dhex

読取タイムアウト

下記の「読取タイムアウト」をスキャンし、続けて、次ページの「数字コード表」からタイムアウト値をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定可能な範囲は、0~30000 で、単位はミリ秒です。デフォルトは、30000 ミリ秒です。



例) 1 秒に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「読取タイムアウト」→「1」「0」「0」→「確定」

数字コード表



フレイションモードの設定

フレイションモードでは、周囲光を利用してコードを自動検出します。リーダは、コードを検知すると、LED 照明を発光して、読み取りを行います。照明が十分でない暗い部屋では、フレイションモードは、正しく動作しない場合があります。

下記のコードをスキャンすると、リーダはフレイションモードで動作します。



LED 照明(フレイションモード)

フレイションモードで待機時の LED 照明の明るさを設定します。



「参考」

照明が少ない暗めの部屋では、LED 照明をより明るくすることで、リーダがコードを検知しやすくなります。また、この設定は、「低品質 PDF」及び「携帯電話読取モード」には適用されません。

コード検知感度

下記の「コード検知感度」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から感度値をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定可能な範囲は、0~20 で、0 が最も高く、20 が最も低い感度になります。デフォルトは、1 です。



例)最も高い感度 0 に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「コード検知感度」→「0」→「確定」

数字コード表

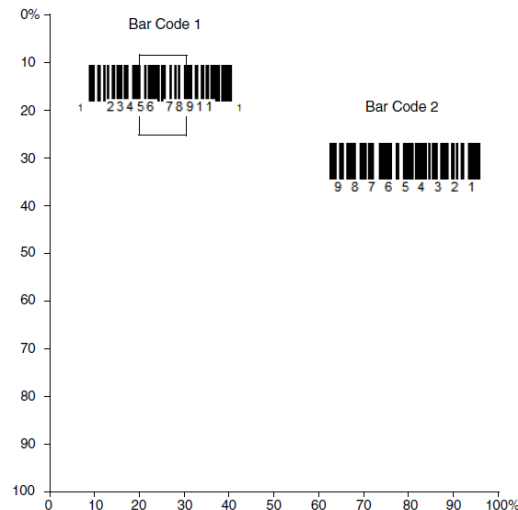


フレキシビリティ

フレキシビリティは、リーダーの読取フィールドの有効範囲を制限する設定です。この設定を利用することで、フレキシビリティモードで、ターゲットに複数のコードが隣接する場合でも、確実に目的のコードを読み取ることができるようになります。

「フレキシビリティ 有り」に設定した場合、設定された有効範囲を通過しない限り、目的のコードを読み取ることができません。

下記の例では、黒枠の四角形部分が設定されたフレキシビリティの有効範囲です。有効範囲は、左 20%・右 30%・上 8%・下 25%に設定されています。バーコード 1 は、有効範囲内にあるため、読み取られますが、バーコード 2 は、有効範囲外のため、対象外となります。有効範囲内にコード全体が入る必要はありません。



下記の「フレキシビリティ 上・下・左・右」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から範囲(%)をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。デフォルトは、上 40%・下 60%・左 40%・右 60%です。



数字コード表



読み取りに関する設定

低品質 1 次元コード 読み取り

汚れやダメージのある品質の低い 1 次元コードの読み取りを改善します。リーダのパフォーマンスは低下するため、必要最低限の利用に留めるようにしてください。2 次元コードの読み取りには影響しません。



低品質 PDF コード 読み取り

汚れやダメージのある品質の低い PDF コードの読み取りを改善します。リーダのパフォーマンスは低下するため、必要最低限の利用に留めるようにしてください。



携帯電話読取モード

リーダを携帯電話画面や他の LED ディスプレイに表示されたコードの読み取り用に最適化します。但し、このモードでは、印刷されたコードの読み取りが僅かに遅くなります。



「参考」

マニュアルリグモードに設定することで、通常の読取モードに復帰します。

ハズフリータイムアウト

ハズフリーモード（プレゼンテーションモード）で動作中に、トリガキーを押すと、リーダはハズフリータイムアウトで設定された時間、マニュアルリグモードに移行して動作します。設定された時間が経過すると、リーダは、元のハズフリーモードに復帰します。時間内にトリガが押された場合は、タイマーがリセットされ、再加計されます。下記の「ハズフリータイムアウト」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」からタイムアウト値をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定可能な範囲は、0~300000 で、単位はミリ秒です。デフォルトは、5000 ミリ秒です。



数字コード表



同一コード 読取防止タイマー

リーダーが同一コードを読み取るのを防止するためのタイマーを設定します。任意の防止タイマーを設定したい場合は、次の「同一コード 読取防止タイマーカスタムタイマー」で行います。この防止タイマーは、プレセプションボードでのみ有効です。



同一コード 読取防止カスタムタイマー

下記の「同一コード 読取防止カスタムタイマー」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」からタイマーをスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定可能な範囲は、0~30000 で、単位はミリ秒です。



例) 防止タイマーを 10 秒に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「同一コード 読取防止カスタムタイマー」→「1」「0」「0」「0」→「確定」

同一 2 次元コード 読取防止タイマー

2 次元コードの同一コード 読取防止タイマーを個別に設定したい場合に利用します。先の「同一コード 読取防止タイマー」を共通で適用する場合は、「無し」に設定します。



数字コード表



カスタムキャラクタリガモード

設定された読取開始キャラクタを受信するとリーダーは読み取り状態になり、設定された読取タイムアウト時間が経過するか、読取終了キャラクタを受信すると、読み取りを終了します。また、時間内にコードを読み取った場合も終了します。



読取開始キャラクタ/読取終了キャラクタ

下記の「読取開始キャラクタ」又は「読取終了キャラクタ」をスキャンし、続けて、次頁の「英数字コード表」から設定したいキャラクタのASCIIコードをスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。デフォルトは、それぞれDC2(12hex)とDC4(14hex)です。



例)読取開始キャラクタを@ (40hex)に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「読取開始キャラクタ」→「4」「0」→「確定」

コード読み取り後の継続読み取り

コードの読み取りに成功した後、コード読み取りを継続する場合は、「コード読み取り継続 有り」に設定します。



読取タイムアウト

下記の「読取タイムアウト」をスキャンし、続けて、次頁の「英数字コード表」から設定したいタイムアウト値をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定範囲は、1~300000で、単位はミリ秒です。デフォルトは、30000ミリ秒です。



例)読取タイムアウトを4秒に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「読取タイムアウト」→「4」「0」「0」「0」→「確定」

英数字コード表



読取終了キャラクタの使用

デフォルトでは、読取終了キャラクタは無効となっています。使用する場合は、「読取終了キャラクタの使用 有り」に設定してください。



照明 LED

リーダでコードを読み取る際、照明 LED を点灯する場合は、「照明 LED 有り」に設定してください。



イマーデレイ

カメラが照準を合わせやすくするためのイマーデレイを設定します。リーダは、トリガが押されても、ここで設定された時間、イマーのみを照射し、照明 LED を点灯しません。任意のイマーデレイを設定したい場合は、次の「カスタムイマーデレイ」で行います。



カスタムイマーデレイ

下記の「カスタムイマーデレイ」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」からタイマーをスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定可能な範囲は、0~4000 で、単位はミリ秒です。



例) カスタムイマーデレイを 4 秒に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「カスタムイマーデレイ」→「4」「0」「0」→「確定」

数字コード表



Iバー

リーダーでコードを読み取る際、Iバーを照射する場合は、「Iバー 有り」に設定してください。



ノリード

リーダーは、コードの読み取りに失敗すると、ノリードを意味する「NR」を送信します。



反転(初)コード 読み取り

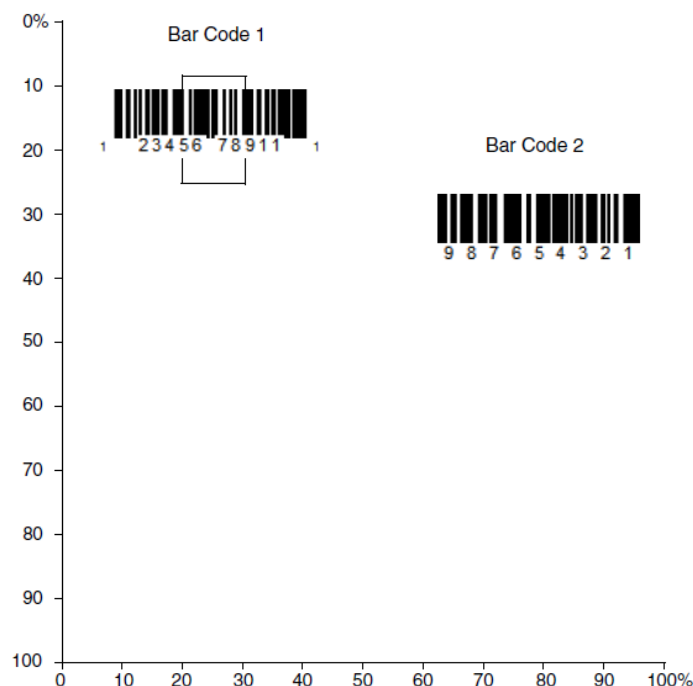


センタリング (ハンドヘルドモード)

センタリングは、リーダの読取フィールドの有効範囲を制限する設定です。この設定を利用することで、ハンドヘルドモードで、ターゲットに複数のコードが隣接する場合でも、確実に目的のコードを読み取ることができるようになります。

「センタリング 有り」に設定した場合、設定された有効範囲を通過しない限り、目的のコードを読み取ることができません。

下記の例では、黒枠の四角形部分が設定されたプレジジョンセンタリングの有効範囲です。有効範囲は、左 20%・右 30%・上 8%・下 25%に設定されています。バーコード 1 は、有効範囲内にあるため、読み取られますが、バーコード 2 は、有効範囲外のため、対象外となります。有効範囲内にコード全体が入る必要はありません。



下記の「センタリング 上・下・左・右」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から範囲(%)をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。デフォルトは、上 40%・下 60%・左 40%・右 60%です。

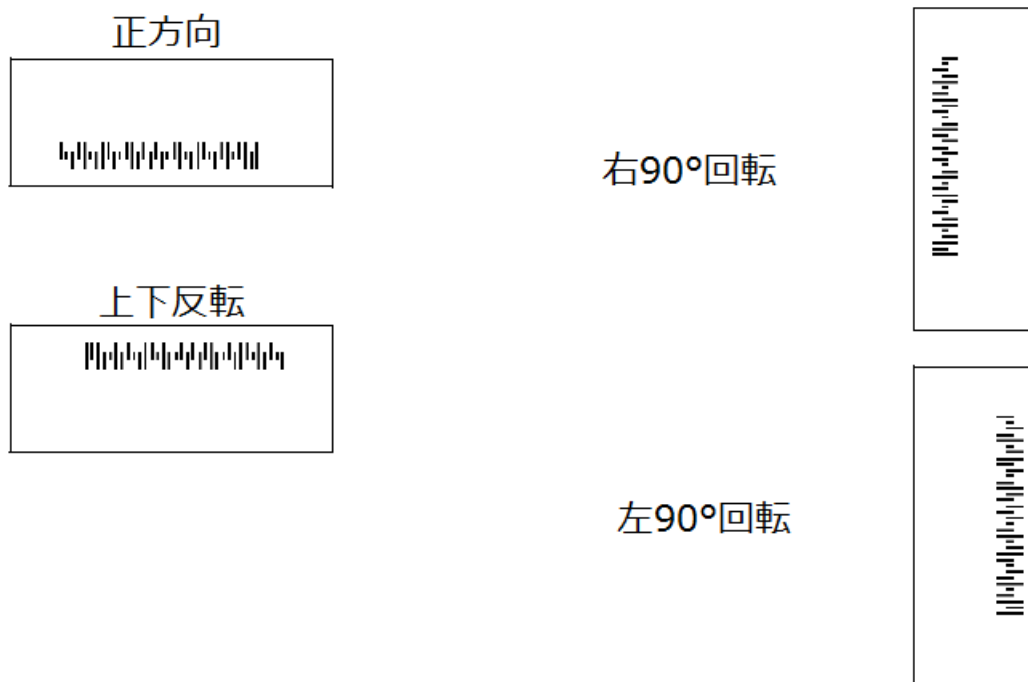


数字コード表



コードの向き

幾つかのコードは、向きに対して繊細です。例えば、KIX コードや OCR が上下反転したり、左右に回転すると、誤読が発生します。向きに対して繊細なコードを正方向以外で読み取る必要がある場合は、この設定を行ってください。



データフォーマットの設定

プリフィックス/サフィックスとは

読取データの前後に任意のプリフィックス及びサフィックスを付加送信することができます。下記に基本データフォーマットを示します。

プリフィックス (デフォルト 無し)	読取データ	サフィックス (デフォルト 無し)
-----------------------	-------	----------------------

プリフィックス及びサフィックスには、それぞれ最大 200 文字まで設定することができます。

クイック設定(サフィックス Enter)

全てのコード記号のサフィックスを Enter に設定します。



(*) RS232C/USB シリアルインターフェイスでは、CR(0Dhex)が送信されます。

プリフィックス/サフィックスの設定

下記の「プリフィックス設定」又は「サフィックス設定」をスキャンし、続けて、対象コード記号に対応する値(「補足 A. コード記号表」を参照)と設定したい文字の ASCII コードを次頁の「英数字コード表」からスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。



例)全コード記号(99hex)のプリフィックスを ABC に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「プリフィックス設定」→「9」「9」「4」「1」「4」「2」「4」「3」→「確定」

例)全コード記号(99hex)のプリフィックスを標準コード ID に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「プリフィックス設定」→「9」「9」「5」「C」「8」「0」→「確定」

例)コード 39(62hex)の全サフィックスをクリアする場合、下記の順にスキャンします。

「全サフィックスクリア」→「6」「2」

英数字コード表



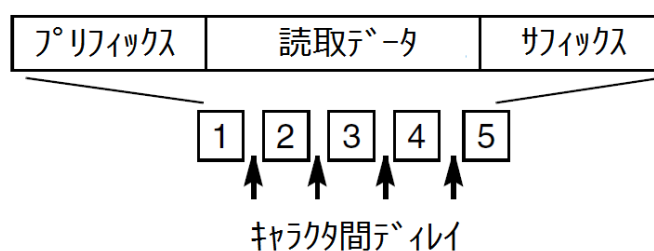
ファンクションコード送信

読取データに含まれるファンクションコードを送信する場合は、「ファンクションコード送信 有り」に設定してください。ファンクションコードの割り付けについては、「補足 B. ASCII コード変換表」を参照ください。



キャラクタ間デレイ

下記の「キャラクタ間デレイ」をスキャンし、続けて、次頁の「英数字コード表」からデレイをスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定範囲は、0~5000 で、設定単位はミリ秒です。但し、5 ミリ秒毎の設定になります。



例)キャラクタ間デレイを 4 秒に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「キャラクタ間デレイ」→「4」「0」「0」「0」→「確定」

「参考」

キャラクタ間デレイは、USB シリアルインターフェイスでは機能しません。デレイを無しに設定したい場合は、0 を設定します。

指定キャラクタデレイ

指定キャラクタ送信後に挿入するデレイです。下記の「指定キャラクタデレイ」をスキャンし、続けて、次頁の「英数字コード表」からデレイをスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定範囲は、0~5000 で、設定単位はミリ秒です。但し、5 ミリ秒毎の設定になります。



続いて、指定キャラクタを設定します。下記の「指定キャラクタ」をスキャンし、続けて、次頁の「英数字コード表」から ASCII コードをスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。



英数字コード表



コントロールキャラクターデイルイ

コントロールキャラクター送信後に挿入されるデイルイです。「補足 B. ASCII コード 変換表」を参照ください。

下記の「コントロールキャラクターデイルイ」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード 表」からデイルイをスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定範囲は、0~5000 で、設定単位はミリ秒です。但し、5 ミリ秒毎の設定になります。



例) コントロールキャラクターデイルイを 4 秒に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「コントロールキャラクターデイルイ」→「4」「0」「0」「0」→「確定」

メッセージ間デイルイ

読取データと読取データの間に挿入されるデイルイです。

下記の「メッセージ間デイルイ」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード 表」からデイルイをスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。設定範囲は、0~5000 で、設定単位はミリ秒です。但し、5 ミリ秒毎の設定になります。



例) メッセージ間デイルイを 4 秒に設定する場合、下記の順にスキャンします。

「メッセージ間デイルイ」→「4」「0」「0」「0」→「確定」

数字コード表



データフォーマットデータ

リーダーは読取データを任意に加工編集して出力することが可能な強力なデータフォーマットデータを搭載しています。例えば、読取データの指定位置にキャラクタを挿入したり、指定位置のデータを削除するなど、フレキシブルな編集を行うことができます。デフォルトは、無効です。

通常、リーダーはコードを読み取ると自動的にそのデータを送信します。しかし、データフォーマットデータを使用する場合は、フォーマットプログラム中で明示的に送信コマンドを使用する必要があります。

リーダーには、4 までのデータフォーマットを登録することができ、それらはプログラムされた順番にスタックされます。但し、下記のリストに示す順序で、データフォーマットは適用されます。

1. 指定ターミナル ID, 指定コード ID, 指定桁数
2. 指定ターミナル ID, 指定コード ID, 任意桁数
3. 指定ターミナル ID, 任意コード ID, 指定桁数
4. 指定ターミナル ID, 任意コード ID, 任意桁数
5. 任意ターミナル ID, 指定コード ID, 指定桁数
6. 任意ターミナル ID, 指定コード ID, 任意桁数
7. 任意ターミナル ID, 任意コード ID, 指定桁数
8. 任意ターミナル ID, 任意コード ID, 任意桁数

データフォーマットデータで定義可能なサイズは、ヘッダ情報を含めて最大 2000 バイトです。

リーダーは、最初のデータフォーマットが適用外の場合、次のデータフォーマット(複数登録されている場合)をチェックします。全てのデータフォーマットが適用外の場合、リーダーは何も加工編集を行わず、読取データをそのまま送信します。

全てのデータフォーマットをクリアして、初期状態に戻したい場合は、下記の「データフォーマット初期化」をスキャンしてください。



ターミナル ID 表

ターミナル	モデル	ターミナル ID
USB	USB キーボード (英語)	124
	USB キーボード (Mac)	125
	USB キーボード (日本語)	134
	USB シリアル	130
	HID POS	131
	USB SurePOS Handheld	128
	USB SurePOS Tabletop	129
シリアル	RS232C	000
	RS485	051
キーボード	PS2 互換	003
	AT 互換	002

データフォーマットの登録

下記の手順に従って、データフォーマットの追加登録を行います。

- 最初に「データフォーマット登録開始」をスキャンします。
- 次頁の「数字コード表」から 0~3 をスキャンします。0~3 は、それぞれ 0 = 基本データフォーマット, 1 = 代替データフォーマット 1, 2 = 代替データフォーマット 2, 3 = 代替データフォーマット 3 を意味します。
- データフォーマットを適用する指定ターミナル ID (前頁を参照) 3 桁を次頁の「数字コード表」でスキャンします。任意ターミナル ID (全てのターミナル ID) に設定する場合は、「099」をスキャンします。例えば、指定ターミナル ID を USB キーボード (日本語) に設定する場合は、「134」をスキャンします。
- データフォーマットを適用する指定コード ID (「補足 A. コードシリアル表」の標準コード ID を参照) 2 桁を次頁の「英数字コード表」でスキャンします。任意コード ID (全てのコード ID) に設定する場合は、「99」をスキャンします。例えば、指定コード ID をコダバ (NW7) に設定する場合は、「61」をスキャンします。
- データフォーマットを適用する指定桁数 (最大 9999) 4 桁を次頁の「英数字コード表」でスキャンします。任意桁数 (全ての桁数) に設定する場合は、「9999」をスキャンします。例えば、指定桁数を 40 桁に設定する場合は、「0040」をスキャンします。
- 「データコメント」を参照して、希望する加工編集内容に合わせたコメントを次頁の「英数字コード表」でスキャンします。
- 最後に「確定」をスキャンすれば登録完了です。登録せずに破棄する場合は、「破棄」をスキャンします。

1 データフォーマットクリア

データフォーマット登録と同様に、「1 データフォーマットクリア」をスキャン後、基本/代替データフォーマット (0~3)、ターミナル ID、コード ID、桁数の順にスキャンし、最後に「確定」をスキャンします。条件に合致したデータフォーマットがクリアされます。

全データフォーマットクリア

「全データフォーマットクリア」をスキャン後、「確定」をスキャンすると、全てのデータフォーマットがクリアされます。



データフォーマットデータコメント

データフォーマットデータでは、読取データの編集位置を仮想カーソル (以下、カーソル) を移動させることで決定します。以下に説明するコメントにより、カーソル位置の移動、編集箇所の選択、置換、データ挿入を行い、最終出力データを作成します。

送信コメント

F1xx	全てのキャラクタを送信 現在のカーソル位置以降の全てのデータを送信し、最後に指定されたキャラクタを付加送信します。xx には付加送信したいキャラクタの ASCII コードを指定します。
F2nnxx	指定桁数を送信 現在のカーソル位置から指定桁数のデータを送信し、最後に指定されたキャラクタを付加送信します。nn には、桁数 00~99 を指定し、xx には付加送信したいキャラクタの ASCII コードを指定します。

例) 123456890 という読取データを最初の 5 桁とそれ以降に分割し、それぞれ CR (0Dhex) を付加送信する場合

コメント : F2100DF10D

F2=コメント, 10=10 桁, 0D=CR, F1=コメント, 0D=CR

送信結果
12345<CR>
67890<CR>

英数字コード表



F3ssxx	検索キャラクタが見つかるまで全てのキャラクタを送信 現在のカーソル位置から検索キャラクタが見つかるまで全てのデータを送信し、最後に指定されたキャラクタを付加送信します。送信には検索キャラクタは含まれません。カーソルは、検索キャラクタの前に移動します。ss には、検索キャラクタ、xx には付加送信したいキャラクタの ASCII コードを指定します。
--------	--

例) 123456890 という読取データを「4」が見つかるまで送信し、最後に CR(0Dhex)を付加送信する場合

コマンド : F3340D 送信結果
123<CR>

F3=「アト」, 34=「4」, 0D=CR

B9nnnns...s	検索文字列が見つかるまで全てのキャラクタを送信 現在のカーソル位置から検索文字列が見つかるまで全てのデータを送信します。送信には検索文字列は含まれません。カーソルは、検索文字列の前に移動します。nnnn には、検索文字列の桁数、s...s には検索文字列の ASCII コードを指定します。
-------------	---

例) 123456890 という読取データを「45」が見つかるまで送信する場合

コマンド : B900023435 送信結果
123<CR>

B9=「マソ」, 0002=2 桁, 3435=「45」

E9nn	後方から指定桁数を除く全てのキャラクタを送信 現在のカーソル位置から始めて、後方から指定桁数を除く全てのデータを送信します。カーソルは、送信した最後のキャラクタの後ろに移動します。nn には、送信から除きたい後方からの桁数を指定します。
F4xxnn	指定キャラクタを指定回数送信 指定キャラクタを指定回数送信します。カーソルは、移動しません。xx には送信したいキャラクタの ASCII コード、nn には、送信回数を指定します。

例) 123456890 という読取データから後方 2 桁を除いて送信し、続けて TAB(09hex)を 2 回送信する場合

コマンド : E902F40902 送信結果
12345678<TAB><TAB>

E9=「マソ」, 02=2 桁, F4=「マソ」, 09=TAB, 02=2 回

BAnnnns...s	指定桁数の文字列を送信 指定桁数の文字列を送信します。カ-ルは、移動しません。nnnn には、文字列の桁数、s...s には文字列の ASCII コードを指定します。
-------------	--

例) 123456890 という読取データを「45」が見つかるまで送信し、続けて2文字「**」を送信する場合

コマンド : B900023435BA00022A2A 送信結果 123**

B9=「マ」, 0002=2 桁, 3435=「45」, BA=「マ」, 2A2A=「**」

B3	コードシンボル名を送信 コードシンボル名を送信します。カーソルは、移動しません。
B4	コード桁数を送信 コード桁数を送信します。カーソルは、移動しません。

例) コード 128 の 123456890 という読取データの前方にコード シンボル名、コード 桁数を付加して送信する場合

マスト : B3B4F10D 送信結果
Code128101234567890<CR>

B3=「マツト」, B4=「マツト」, F1=「マツト」, 0D=<CR>

英数字コード表



B5xxssnn	キーコードを送信 キーコード又はジョystickキーコードを送信します。カーソルは、移動しません。xx には、キーを押す回数 (キータイプは除く)、ss にはキータイプ(下表を参照)、nn にはキー番号を指定します。キー番号については、「補足 C. キー番号表」を参照ください。
----------	--

キータイプ表	
無し	00
左 Shift	01
右 Shift	02
左 Alt	04
右 Alt	08
左 Ctrl	10
右 Ctrl	20

例) 104 キーボード (米国)の「A」を送信する場合(PC の Caps lock はOFF状態とする)

コマンド : B501021F

B5=コマンド, 01=1桁, 02=右 Shift, 1F=「a」(右 Shift+a=「A」)

移動コマンド

F5nn	カーソルを指定キャラクタ分後方へ移動 カーソルを現在位置から指定キャラクタ分後方へ移動します。nn には、移動させるキャラクタ数(00~99)を指定します。
F6nn	カーソルを指定キャラクタ分前方へ移動 カーソルを現在位置から指定キャラクタ分前方へ移動します。nn には、移動させるキャラクタ数(00~99)を指定します。
F7	カーソルを先頭に移動 カーソルを先頭に移動します。
EA	カーソルを最終キャラクタに移動 カーソルを最終キャラクタに移動します。

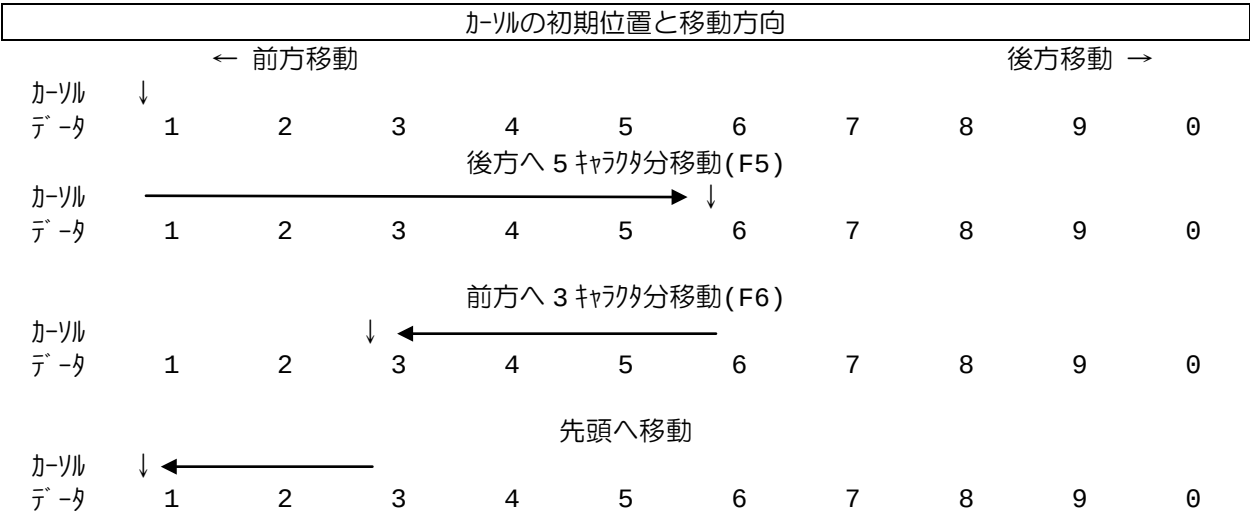
例) 123456890 という読取データで、カーソルを 3 つ前方へ移動した後、カーソル位置以降のデータを送信する場合

コマンド : F503F10D

送信結果
4567890<CR>

F5=コマンド, 03=3桁, F1=コマンド, 0D=CR

カーソルの移動方向に関して



英数字コード表



検索コマンド

F8xx	指定キャラクタを後方検索 現在のカーソル位置から指定キャラクタを後方検索します。指定キャラクタが見つかったら、カーソルをその前に移動します。xxには検索したいキャラクタのASCIIコードを指定します。
F9xx	指定キャラクタを前方検索 現在のカーソル位置から指定キャラクタを前方検索します。指定キャラクタが見つかったら、カーソルをその前に移動します。xxには検索したいキャラクタのASCIIコードを指定します。

例) 123456890 という読取データで、「4」を後方検索し、「4」を含むそれ以降のデータを送信する場合

コマンド : F834F10D 送信結果
4567890<CR>

F8=コマンド, 34=「4」, F1=コマンド, 0D=CR

B0nnnns...s	指定文字列の後方検索 現在のカーソル位置から指定文字列を後方検索します。指定文字列が見つかったら、カーソルをその前に移動します。nnnnには、検索文字列の桁数、s...sには文字列のASCIIコードを指定します。
B1nnnns...s	指定文字列の前方検索 現在のカーソル位置から指定文字列を前方検索します。指定文字列が見つかったら、カーソルをその前に移動します。nnnnには、検索文字列の桁数、s...sには文字列のASCIIコードを指定します。

例) 123456890 という読取データで、「45」を後方検索し、「45」を含むそれ以降のデータを送信する場合

コマンド : B000023435F10D 送信結果
4567890<CR>

B0=コマンド, 0002=2桁, 3435=「45」, F1=コマンド, 0D=CR

E6xx	指定キャラクタを後方不一致検索 現在のカーソル位置から指定キャラクタを後方不一致検索します。指定キャラクタ以外が見つかったら、カーソルをその前に移動します。xxには検索したいキャラクタのASCIIコードを指定します。
E7xx	指定キャラクタを前方不一致検索 現在のカーソル位置から指定キャラクタを前方不一致検索します。指定キャラクタ以外が見つかったら、カーソルをその前に移動します。xxには検索したいキャラクタのASCIIコードを指定します。

例) 0000012345 という読取データで、「0」を後方不一致検索し、それ以降のデータを送信する場合

コマンド : E630F10D 送信結果
12345<CR>

F6=コマンド, 30=「0」, F1=コマンド, 0D=CR

その他コマンド

FBnnxx...zz	指定キャラクタを抑止 指定キャラクタを抑止します。カーソルは移動しません。nnには、指定するキャラクタ数、xx...zzには抑止したいキャラクタのASCIIコードを指定します。異なる15キャラクタまでを指定可能です。
FC	指定キャラクタ抑止の解除 指定キャラクタ抑止を解除します。カーソルは移動しません。

例) 123@456@890 という読取データで、「@」を抑止して、データを送信する場合

コマンド : FB0140F10D 送信結果
1234567890<CR>

FB=コマンド, 01=1キャラクタ, 40=「@」, F1=コマンド, 0D=CR

英数字コード表



E4nnxx1xx2yy1yy2...zz1zz2	キャラクタを置換 キャラクタを指定キャラクタに置換します。カーソルは移動しません。nn には、置換するキャラクタ数、xx1xx2yy1yy2...zz1zz2 には抑止したい置換前のキャラクタとの置換後のキャラクタの ASCII コードを交互に指定します。異なる 15 キャラクタまでを置換可能です。
E5	キャラクタ置換の解除 キャラクタ置換を解除します。

例) 10203040 という読取データで、「0」を「@」に置換して、データを送信する場合

コマンド : E4023040F10D 送信結果
102@304<CR>
E4=コマンド, 02=2 キャラクタ, 30=「0」, 40=「@」, F1=コマンド, 0D=...

FExx	指定キャラクタの比較 現在のカーソル位置のキャラクタと指定キャラクタを比較します。指定キャラクタと同じであれば、カーソルをそのキャラクタの後ろに移動します。xx にはキャラクタの ASCII コードを指定します。
B2nnnns...s	指定文字列の比較 現在のカーソル位置の文字列と指定文字列を比較します。指定文字列と同じであれば、カーソルをその文字列の後ろに移動します。nnnn には、指定文字列の桁数、s...s には文字列の ASCII コードを指定します。

例) 「Test」という文字列を比較する場合

コマンド : B2000454657374
B2=コマンド, 0004=4 桁, 54657374=「Test」

EC	数字データをチェック 現在のカーソル位置のキャラクタが数字であるかをチェックします。数字でない場合、処理をリセットします。
ED	数字データ以外かをチェック 現在のカーソル位置のキャラクタが数字以外であるかをチェックします。数字の場合、処理をリセットします。

例) 先頭キャラクタが数字の場合のみデータを送信する場合

コマンド : ECF10D 送信結果
読取データ① : 123ABCD
123ABCD<CR>
読取データ② : ABCD123
先頭キャラクタが数字でないため、処理をリセット
次のフォーマット登録があれば、それを適用
なければ、生データ「ABCD123」がそのまま送信されます。

EFnnnn	デルイを挿入 デルイを挿入します。nnnn には、デルイを指定します。範囲は、0000~9999 で、設定単位は、5 ミリ秒 (9999x5=49995 ミリ秒) です。
B8	データを破棄 データを破棄します。

例) 先頭が A で始まる読取データを破棄する場合

コマンド : FE41B8
FE=コマンド, 41=「A」, B8=コマンド

「注意」

- B8 コマンドは、全てのコマンドを実行した最後に実行しなければいけません。
- B8 コマンドを実行する場合、「データフォーマット 有効(必須)」に設定しなければいけません。

英数字コード表



データフォーマットの有効化

登録したデータフォーマットを適用するには、データフォーマットを有効にする必要があります。用途に応じて、下記の何れかを有効にしてください。



~ D F M E N 0 .
「データフォーマット 無効」



~ D F M E N 1 .
「データフォーマット 有効, プリフィックス/サフィックス 有り」



~ D F M E N 2 .
「データフォーマット 有効(必須), プリフィックス/サフィックス 有り」



~ D F M E N 3 .
「データフォーマット 有効, プリフィックス/サフィックス 無し」



~ D F M E N 4 .
「データフォーマット 有効(必須), プリフィックス/サフィックス 無し」

基本データフォーマットと代替データフォーマット

リーダーには、4 つまでのデータフォーマットを登録することができます。基本データフォーマットは 0、代替データフォーマットは 1~3 に登録されます。下記からリーダーで使用するデータフォーマットをスキャンします。



~ R M V F N C 0 .
「基本データフォーマット」



~ R M V F N C 1 .
「代替データフォーマット 1」



~ R M V F N C 0 .
「代替データフォーマット 2」



~ R M V F N C 1 .
「代替データフォーマット 3」

9. 読取コードの設定

この章では、読取コードの各種パラメータ設定を行います。

全コード

リーダーが読み取っている全てのコードを読み取る場合は、「全コード 読み取り 有り」に設定します。



コードバー(NW7)



~ C B R D F T .
「全コードバー(NW7)設定を初期化」



~ C B R E N A 0 .
「コードバー(NW7)読み取り 無し」



~ C B R S S X 0 .
「スタート/ストップ キャラクタ送信 無し」



~ C B R C K 2 1 .
「チェックデジット(16ビット)検査 有り, 送信 無し」



~ C B R C C T 1 .
「連結読み取り 有り」



~ C B R C C T 2 .
「連結 必須」



~ C B R M A X .
「最大読取桁数」



~ C B R E N A 1 .
「コードバー(NW7)読み取り 有り」



~ C B R S S X 1 .
「スタート/ストップ キャラクタ送信 有り」



~ C B R C K 2 0 .
「チェックデジット検査 無し」



~ C B R C K 2 2 .
「チェックデジット(16ビット)検査 有り, 送信 有り」



~ C B R C C T 0 .
「連結読み取り 無し」



~ C B R M I N .
「最小読取桁数」

連結読み取り

ストップ キャラクタ「D」で終わるコードとスタートキャラクタ「D」で始まるコードのデータを連結して一つのデータとして扱います。「必須」を設定した場合、連結対象以外のコードは読み取れません。



A 1 2 3 4 D



D 5 6 7 8 A

最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、2桁~60桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をタッチし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をタッチして、最後に「確定」をタッチします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ4桁と60桁です。

数字コード表



コード 39



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、0 桁~48 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 0 桁と 48 桁です。

数字コード表



インターリーブド 2 オフ 5



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、2 桁~80 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をタッチし、続けて、次頁の「数字」-「表」から設定したい桁数をタッチして、最後に「確定」をタッチします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 4 桁と 80 桁です。

数字コード表



NEC 2桁 5



~ N 2 5 D F T .
「全 NEC 2桁 5 設定を初期化」



~ N 2 5 E N A 0 .
「NEC 2桁 5 読み取り 無し」



~ N 2 5 C K 2 1 .
「チェックディジット検査 有り, 送信 無し」



~ N 2 5 M I N .
「最小読取桁数」



~ N 2 5 E N A 1 .
「**NEC 2桁 5 読み取り 有り**」



~ N 2 5 C K 2 0 .
「**チェックディジット検査 無し**」



~ N 2 5 C K 2 2 .
「チェックディジット検査 有り, 送信 有り」



~ N 2 5 M A X .
「最大読取桁数」

最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、2 桁~80 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をダイヤルし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をダイヤルして、最後に「確定」をダイヤルします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 4 桁と 80 桁です。

数字コード表



コード 93



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、0 桁~80 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 0 桁と 80 桁です。

コード ストリアル 2 オフ 5



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~48 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 4 桁と 48 桁です。

数字コード表



IATA 2 オフ 5



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~48 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 4 桁と 48 桁です。

マトリクス 2 オフ 5



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~80 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 4 桁と 80 桁です。

数字コード表



コード 128



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、0 桁~80 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 0 桁と 80 桁です。

GS1-128



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~80 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 1 桁と 800 桁です。

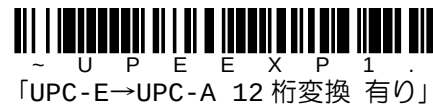
数字コード表



UPC-A



UPC-E



EAN/JAN-13



~ E 1 3 D F T .
「全 EAN/JAN-13 設定を初期化」



~ E 1 3 E N A 0 .
「EAN/JAN-13 読み取り 無し」



~ E 1 3 C K X 0 .
「チェックサム送信 無し」



~ E 1 3 I S B 1 .
「ISBN 変換 有り」



~ E 1 3 A D 2 0 .
「アド 2 読み取り 無し」



~ E 1 3 A D 5 0 .
「アド 5 読み取り 無し」



~ E 1 3 A R Q 0 .
「アドコード 必須読み取り 無し」



~ E 1 3 A D S 0 .
「アドオンセパレータ(スペース)挿入 無し」



~ E 1 3 E N A 1 .
「EAN/JAN-13 読み取り 有り」



~ E 1 3 C K X 1 .
「チェックサム送信 有り」



~ E 1 3 I S B 0 .
「ISBN 変換 無し」



~ E 1 3 A D 2 1 .
「アド 2 読み取り 有り」



~ E 1 3 A D 5 1 .
「アド 5 読み取り 有り」



~ E 1 3 A R Q 1 .
「アドコード 必須読み取り 有り」



~ E 1 3 A D S 1 .
「アドオンセパレータ(スペース)挿入 有り」

EAN/JAN-8



~ E A 8 D F T .
「全 EAN/JAN-8 設定を初期化」



~ E A 8 E N A 0 .
「EAN/JAN-8 読み取り 無し」



~ E A 8 C K X 0 .
「チェックディジット送信 無し」



~ E A 8 A D 2 0 .
「アドオン2 読み取り 無し」



~ E A 8 A D 5 0 .
「アドオン5 読み取り 無し」



~ E A 8 A R Q 0 .
「アドオンコード 必須読み取り 無し」



~ E A 8 A D S 0 .
「アドオンセパレータ(スペース)挿入 無し」



~ E A 8 E N A 1 .
「EAN/JAN-8 読み取り 有り」



~ E A 8 C K X 1 .
「チェックディジット送信 有り」



~ E A 8 A D 2 1 .
「アドオン2 読み取り 有り」



~ E A 8 A D 5 1 .
「アドオン5 読み取り 有り」



~ E A 8 A R Q 1 .
「アドオンコード 必須読み取り 有り」



~ E A 8 A D S 1 .
「アドオンセパレータ(スペース)挿入 有り」

MSI



「全 MSI 設定を初期化」



「MSI 読み取り 有り」

「MSI 読み取り 無し」「チェックビット(タイプ 10)検査有り, 送信 無し」

「チェックビット(タイプ 10)検査有り, 送信 有り」



「2 チェックビット(タイプ 10)検査有り, 送信 無し」



「2 チェックビット(タイプ 10)検査有り, 送信 有り」



「2 チェックビット(タイプ 11/10)検査有り, 送信 無し」



「2 チェックビット(タイプ 11/10)検査有り, 送信 有り」



「チェックビット無し」



「最小読取桁数」



「最大読取桁数」

最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、4 桁~48 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をダイヤルし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をダイヤルして、最後に「確定」をダイヤルします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 4 桁と 48 桁です。

数字コード表



GS1 Databar Omnidirectional



~ R S S D F T .

「全 GS1 Databar Omnidirectional 設定を初期化」



~ R S S E N A 0 .

「Databar Omnidirectional 読み取り 無し」



~ R S S E N A 1 .

「Databar Omnidirectional 読み取り 有り」

GS1 Databar Limited



~ R S L D F T .

「全 GS1 Databar Limited 設定を初期化」



~ R S L E N A 0 .

「Databar Limited 読み取り 無し」



~ R S L E N A 1 .

「Databar Limited 読み取り 有り」

GS1 Databar Expanded



~ R S E D F T .

「全 GS1 Databar Expanded 設定を初期化」



~ R S E E N A 0 .

「Databar Expanded 読み取り 無し」



~ R S E E N A 1 .

「Databar Expanded 読み取り 有り」


~ R S E M I N .

「最小読取桁数」



~ R S E M A X .

「最大読取桁数」

最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、4 桁~74 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 4 桁と 74 桁です。

数字コード表



Codablock A



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~600 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。読取桁数を固定としたい場合は、最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 1 桁と 600 桁です。

Codablock F



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~2048 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。読取桁数を固定としたい場合は、最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 1 桁と 2048 桁です。

数字コード表



PDF417



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~2750 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。読取桁数を固定としたい場合は、最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 1 桁と 2750 桁です。

MacroPDF417



MicroPDF417



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~366 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をスキャンし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をスキャンして、最後に「確定」をスキャンします。読取桁数を固定としたい場合は、最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 1 桁と 366 桁です。

数字コード表



GS1 Composite



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~2435 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をダイヤルし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をダイヤルして、最後に「確定」をダイヤルします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 1 桁と 2435 桁です。

GS1 ミニレージョン



全てのレールコード (UPC/EAN) は、16 桁に拡張されます。AIM コード ID が有効な場合は、GS1 Databar の AIM コード ID]em が適用されます。



EAN-8 を EAN-13 に変換します。



全てのレールコード (UPC/EAN) は、16 桁に拡張されます。AIM コード ID が有効な場合は、GS1-128 の AIM コード ID]c1 が適用されます。



16 桁への拡張は行わず、UPC-E0 拡張の設定値が適用されます。AIM コード ID が有効な場合は、GS1-128 の AIM コード ID]c1 が適用されます。



上記全ての GS1 ミニレージョンを行いません。

数字コード表



TLC39



QR コード



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~7089 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をタッチし、続けて、次頁の「数字コード 表」から設定したい桁数をタッチして、最後に「確定」をタッチします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 1 桁と 7089 桁です。

数字コード表



Data Matrix



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~3116 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をタッチし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をタッチして、最後に「確定」をタッチします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 1 桁と 3116 桁です。

MaxiCode



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~150 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をタッチし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をタッチして、最後に「確定」をタッチします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 1 桁と 150 桁です。

数字コード表



Aztec コード



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~3832 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をダイヤルし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をダイヤルして、最後に「確定」をダイヤルします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 1 桁と 3832 桁です。

MaxiCode



最小読取桁数/最大読取桁数

設定範囲は、1 桁~150 桁です。「最小読取桁数」又は「最大読取桁数」をダイヤルし、続けて、次頁の「数字コード表」から設定したい桁数をダイヤルして、最後に「確定」をダイヤルします。読取桁数を固定としたい場合は、「最小読取桁数」と「最大読取桁数」に同じ桁数を設定します。デフォルトは、それぞれ 1 桁と 150 桁です。

数字コード表



郵便コード



~ P O S T A L 0 .
「全郵便コード 読み取り 無し」



~ P O S T A L 7 .
「イギリス郵便コード 読み取り 有り」



~ P O S T A L 1 0 .
「インテリジェントメールバースコード 読み取り 有り」



~ P O S T A L 4 .
「KIX 郵便コード 読み取り 有り」



~ P O S T A L 9 .
「Postal-4i 読み取り 有り」



~ P O S T A L 1 .
「オーストラリア郵便コード 読み取り 有り」



~ P O S T A L 3 0 .
「カナダ 郵便コード 読み取り 有り」



~ P O S T A L 3 .
「日本郵便コード 読み取り 有り」



~ P O S T A L 5 .
「Planet コード 読み取り 有り」

10. イメージングコマンド

リーダーは、デジタライザーと同じようにイメージをキャプチャ後、様々な処理を実行し、それを転送します。ここで説明するイメージングコマンドにより、ホストの指示に従って、それらの処理を実行することが可能になります。

イメージングコマンドは、ひとつのイメージキャプチャに対してのみ、効力を持ち、一度イメージキャプチャを完了すると、リーダーは、それらの設定をデフォルトに戻します。恒久的に設定を維持したい場合は、シリアルコマンドを使用する必要があります。シリアルコマンドについては、「11. シリアルコマンド」を参照ください。

コマンド書式

一度のセッションで複数のコマンドを発行することができます。追加のコマンドを同じコマンドに対して適用する場合、そのコマンドにそのコマンドをそのまま追加するだけです。例えば、イメージスナップコマンド「IMGSNP」にイメージスタイル指定「1P」とトリガ待ち指定「1T」の2つのコマンドを追加する場合、「IMGSNP1P1T」とします。

「参考」

イメージスナップコマンド「IMGSNP」を実行した後、メディア内のイメージを取得するため、イメージシフコマンド「IMGSHF」を発行する必要があります。

1つのセッションにコマンドを追加する場合は、コマンドセパレーターとして、セミコロン「;」を使用します。例えば、上記のセッションにイメージシフコマンドを追加する場合、「IMGSNP1P1T;IMGSHF」となります。

イメージスナップコマンド IMGSNP

イメージシフコマンド IMGSHF

(*) 各コマンドの後ろには、コマンドが続きます。詳細は、各コマンドの説明を参照ください。

「注意」

本書の説明で使用しているイメージ例は、説明のためのサンプルイメージです。実際には、異なるイメージが得られます。また、イメージの品質についても、周囲照度や撮影距離など、様々な環境変化に影響されます。高品質なイメージを取得するには、リーダーと被写体の距離を102mm~152mmの範囲内にすることを推奨します。

イメージを撮影する：イメージスナップコマンド - IMGSNP

イメージの撮影は、トリガボタンを押すか、イメージスナップコマンド「IMGSNP」を発行することで行えます。

イメージスナップコマンドには、イメージの見た目に影響を与える多数のコマンドが用意されており、任意数のコマンドを指定することが可能です。例えば、ゲインを増やし、イメージ撮影完了時にビープを鳴動させたい場合、「IMGSNP2G1B」と指定します。

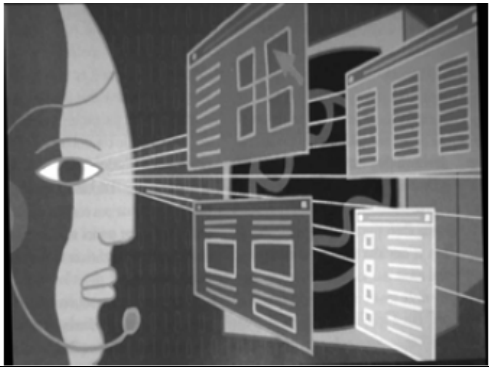
IMGSNP コマンド

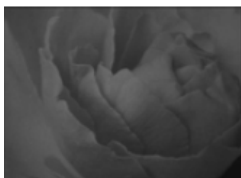
P	イメージスタイル
イメージスタイルを指定します。	
0P	<u>デコーディングスタイル</u> この処理では、露出パラメータに合致するまで、いくつかのフレームが取り込まれ、最後のフレームがその後の処理のために採用されます。
1P	<u>フォトスタイル(デフォルト)</u> シンプルなデジタライザーのように動作し、イメージは視覚的に最適化されます。
2P	<u>マニュアルスタイル</u> 全ての設定を自由にマニュアルで行うモードで、自動露出もありません。

B ビープ	
撮影後のビープを指定します。	
0B	ビープ無し(デフォルト) ビープを鳴らしません。
1B	ビープ有り ビープを鳴らします。

T トリガ待ち	
撮影前のトリガ待ちを指定します。この設定は、フォトスタイル「1P」でのみ使用できます。	
0T	トリガ待ち無し(デフォルト) トリガが押されるのを待たず、直ちに撮影を行います。
1T	トリガ待ち有り トリガが押されるまで、撮影を行いません。

L LED 照明	
LED 照明を指定します。この設定は、デコーディングスタイル「0P」では使用できません。	
0L	LED 照明無し(デフォルト) LED 照明を点灯しません。スタジオに固定した状態で、ID カード などカード キュメントを撮影する場合に好まれます。
1L	LED 照明有り LED 照明を点灯します。ハンドヘルド運用で好まれます。

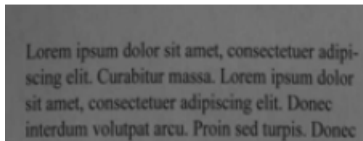
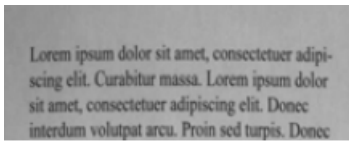
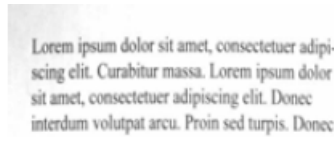
E 露出時間	
露出時間を指定します。マニュアルスタイル「2P」でのみ使用できます。	
nE	露出(デフォルト n=7874) カメラのシャッタースピードと同様で、イメージを記録するまでに要する時間を指定します。明るい日中であれば、十分な光によりイメージを記録できるため、露出時間を最小限に短くすることができます。反対に、暗い夜間の場合、光が不足するため、露光時間を劇的に増加させる必要があります。指定範囲は、n=1~7874 で、単位は、127 マイクロ秒です。
イメージ例 露出時間 7874E, 蛍光灯下  イメージ例 露出時間 100E, 蛍光灯下 	

G ゲイン		
ゲインを指定します。マニュアルスタイル「2P」でのみ使用できます。		
nG	<u>ゲイン(デフォルト n=64)</u> 音量をコントロールするような感じで、シグナルをブーストし、ゲインによりピクセル値を増増させます。ゲインを大きくすると、それに伴いイメージ内のノイズも増幅します。指定は、n=40(小ゲイン)、n=64(中ゲイン)、n=96(大ゲイン)の何れかです。	
イメージ例 40G  イメージ例 64G  イメージ例 96G 		

W ターゲット輝度値			
ターゲット輝度値を指定します。フォトスタイル「1P」でのみ使用できます。			
nW	輝度値(デフォルト n=90) 撮影したイメージのターゲット輝度値(グレースケール中央値)を指定します。ハイコントラスト文書を近接撮影(クローズアップ/大写し)する場合、75のような低めの値を指定します。高めの値は、より長い露出時間とより明るいイメージとなりますが、高すぎると、イメージは露出過度となってしまいます。指定範囲は、n=0~255です。		
イメージ例 40G		イメージ例 64G	イメージ例 96G
			

D 許容デルタ	
許容デルタを指定します。フォトスタイル「1P」でのみ使用できます。	
nD	許容デルタ(デフォルト n=25) 許容デルタは、ターゲット輝度値設定(W ターゲット輝度値を参照)の許容範囲を指定します。指定範囲は、n=0~255です。

U 更新回数	
更新回数を指定します。フォトスタイル「1P」でのみ使用できます。	
nU	更新回数(デフォルト n=6) 許容デルタを達成するために取り込む最大フレーム数を指定します。指定範囲は、n=0~10です。

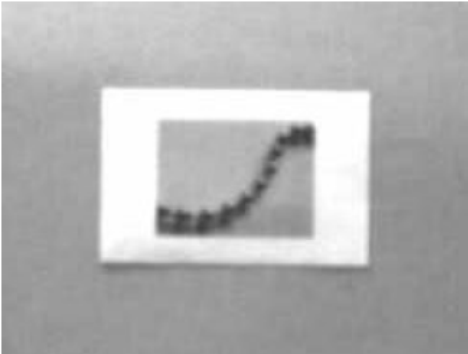
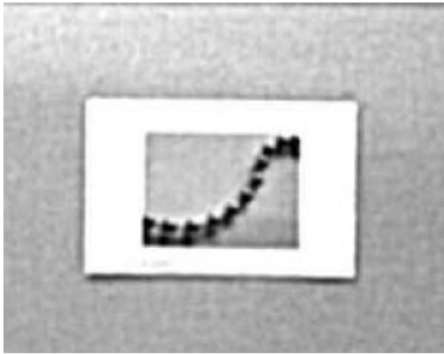
% ターゲットポイントパーセンテージ		
ターゲットポイントパーセンテージを指定します。		
n%	ターゲットポイントパーセンテージ(デフォルト n=50) 取り込んだイメージの明暗値のターゲットポイントをパーセンテージで指定します。75%は、ピクセルの75%がターゲット輝度値以下で、残りの25%がそれを超えることを意味します。通常的环境下、デフォルトのまま使用することを推奨します。グレースケール値を変更する場合は、「W ターゲット輝度値」を使用します。指定範囲は、n=1~99です。	
イメージ例 97%	イメージ例 50%	イメージ例 40%
		

イメージを送信する：イメージ ショップ マット - IMGSHIP

最後に撮影されたイメージ がリーダ のメモリ内に常に格納されています。このイメージ は、イメージ ショップ マット「IMGSHIP」を発行することで送信できます。

イメージ ショップ マット には、イメージ の見た目に影響を与える多数のオプションが用意されており、任意数のオプションを指定することが可能です。但し、これらのオプションは、送信するイメージ に対してのみ影響し、メモリ内のイメージ には、影響しません。例えば、イメージ を撮影し、そのイメージ をガンマ補正とドキュメントイメージ フィルタリングを行って、ビットマップ として送信したい場合、「IMGSNP;IMGSHIP8F75K26U」と指定します。

IMGSHIP オプション

A 無限遠フィルタ	
無限遠フィルタを指定します。無限遠フィルタを使用することで、非常に遠距離(3m 以上)から撮影したイメージ の質を向上させることができます。無限遠フィルタを IMGSNP オプションと共に使用することはできません。	
0A	無限遠フィルタ無し(デフォルト) 無限遠フィルタを使用しません。
1A	無限遠フィルタ有り 無限遠フィルタを使用します。
イメージ 例 無限遠フィルタ無し(3.66m から撮影)  イメージ 例 無限遠フィルタ有り(3.66m から撮影) 	

C 補正	
補正を指定します。補正を使用することで、照明の変化を考慮したイメージ のフラット化が行えます。	
0C	補正無し(デフォルト) 補正を行いません。
1C	補正有り 補正を行います。
イメージ 例 補正無し  イメージ 例 補正有り 	

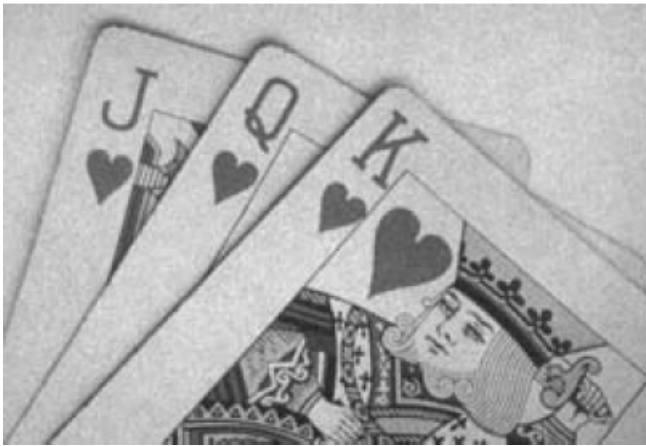
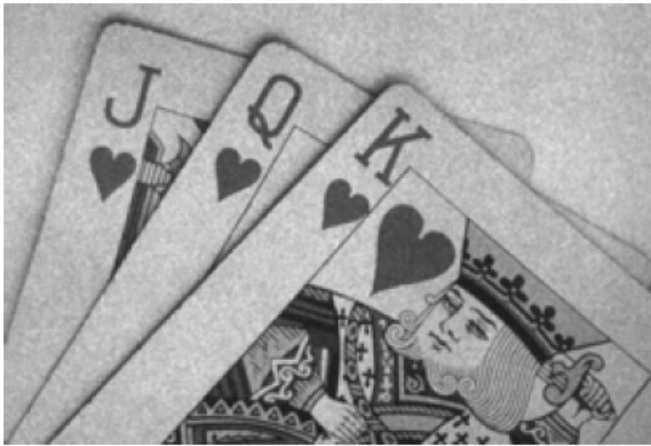
D ビット濃度	
ビット濃度を指定します。	
8D	8ビット(デフォルト) ビット濃度あたり 8ビットのグレースケールイメージ にします。
1D	1ビット ビット濃度あたり 1ビットの白黒イメージ にします。

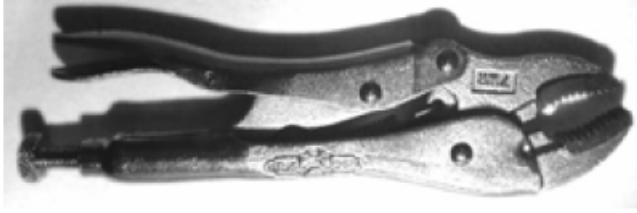
E エッジシャープフィルタ	
エッジシャープフィルタを指定します。エッジシャープフィルタを使用することで、イメージのエッジ（輪郭）をくっきりさせることができます。但し、イメージは鮮明になりますが、撮影された細かな部分も取り除かれることになります。	
0E	<u>エッジシャープフィルタ無し(デフォルト)</u> エッジシャープフィルタを使用しません。
nE	<u>エッジシャープフィルタ</u> エッジシャープフィルタを使用します。指定範囲は、n=1~24 で、数値を大きくするほど鮮明度は高くなりますが、同時にイメージ中のノイズも増加します。一般的なイメージであれば、14 を指定すると良いでしょう。
イメージ例 エッジシャープフィルタ無し  イメージ例 エッジシャープフィルタ有り (24E) 	

F ファイルフォーマット	
ファイルフォーマットを指定します。	
0F	KIM フォーマット
1F	TIFF バイナリ
2F	TIFF バイナリグループ 4, 圧縮
3F	TIFF グレースケール
4F	非圧縮バイナリ(左上から右下, 1ピクセル/ビット, 行最後を0パディング)
5F	非圧縮グレースケール(左上から右下, ビットマップフォーマット)
6F	JPEG イメージ (デフォルト)
8F	BMP フォーマット(左上から右下, 非圧縮)
15F	BMP 非圧縮未加工イメージ

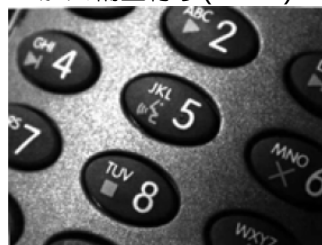
H ヒストグラムストレッチ	
ヒストグラムストレッチを指定します。ヒストグラムストレッチを使用することで、イメージのコントラストを高めることができます。いくつかのイメージフォーマットには、対応していません。	
0H	<u>ヒストグラムストレッチ無し(デフォルト)</u> ヒストグラムストレッチを使用しません。
1H	<u>ヒストグラムストレッチ有り</u> ヒストグラムストレッチを使用します。
イメージ例 ヒストグラムストレッチ無し  イメージ例 ヒストグラムストレッチ有り 	

I イメ-ジ 反転		
イメ-ジ 反転を指定します		
1ix	X 軸に対してイメ-ジ を反転(イメ-ジ の上下反転)	
1iy	Y 軸に対してイメ-ジ を反転(イメ-ジ の左右反転)	
イメ-ジ 例 イメ-ジ 反転無し 		イメ-ジ 例 イメ-ジ 上下反転(1ix) 
		イメ-ジ 例 イメ-ジ 左右反転(1iy) 

IF ノイズ 低減	
ノイズ 低減を指定します。ノイズ 低減を使用することで、イメ-ジ の白黒ノイズ を低減できます。	
0if	<u>ノイズ 低減無し(デフォルト)</u> ノイズ 低減を使用しません。
1if	<u>ノイズ 低減有り</u> ノイズ 低減を使用します。
イメ-ジ 例 ノイズ 低減無し  イメ-ジ 例 ノイズ 低減有り 	

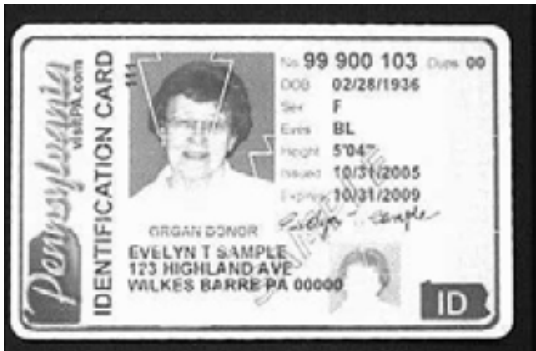
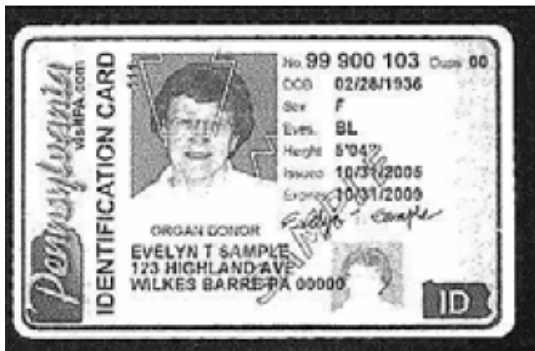
IR イメージ回転	
イメージ回転を指定します。	
0ir	イメージ回転無し(デフォルト)
1ir	イメージ 90° 右回転
2ir	イメージ 180° 回転(上下反転)
3ir	イメージ 90° 左回転
イメージ例 イメージ回転無し(0ir) 	
イメージ例 イメージ 180° 回転(2ir) 	
イメージ例 イメージ 90° 右回転(1ir) 	
イメージ例 イメージ 90° 左回転(3ir) 	

J JPEG イメージ品質	
JPEG イメージ品質を指定します。ファイルフォーマットが JPEG の場合に使用できます。	
nJ	<u>JPEG イメージ品質(デフォルト n=50)</u>
	JPEG イメージの品質を指定します。大きい値ほど高品質になりますが、ファイルサイズは大きくなります。小さい値にすると、圧縮量が大きくなるため品質が落ちますが、ファイルサイズは小さくなり、送信時間も短くなります。指定範囲は、n=0~100 です。

K ガソ補正		
ガソ補正を指定します。		
nK	ガソ補正(デフォルト n=0)	
	ガソ補正を指定します。ガソ補正を使用することで、イメージを明るくしたり、暗くしたりすることができます。大きい値ほど明るくなり、小さい値ほど暗いイメージになります。指定範囲は、n=0~1000で、標準的な文書イメージを明るく補正する場合、50 が適しています。	
イメージ例 ガソ補正無し(0K)  イメージ例 ガソ補正有り(50K)  イメージ例 ガソ補正有り(255K) 		
L, R, T, B, M イメージ切り取り		
イメージ切り取りを指定します。上下左右のピクセル座標を指定し、その範囲のイメージのみ切り取って送信します。イメージの列には、0~1279、行には、0~959 の番号が付けられています。		
nL	左端(デフォルト n=0) メモリ内イメージの n 列に対応する左端を指定します。指定範囲は、n=0~843 です。	
nR	右端(デフォルト n=全列) メモリ内イメージの n-1 列に対応する右端を指定します。指定範囲は、n=0~843 です。	
nT	上端(デフォルト n=0) メモリ内イメージの n 行に対応する上端を指定します。指定範囲は、n=0~639 です。	
nB	下端(デフォルト n=全行) メモリ内イメージの n-1 行に対応する上端を指定します。指定範囲は、n=0~639 です。	
イメージ例 切り取り無し  イメージ例 300R  イメージ例 300L 		
イメージ例 200B  イメージ例 300T 		
代わりに、イメージの外側マージンからの切り取りピクセル数を指定すると、中央のピクセルのみが送信されます。		
nM	マージン(デフォルト n=0 又はイメージ全体)	
	イメージの左から n 列、右から n+1 列、上から n 行、下から n+1 行切り取り、残った中央のピクセルを送信します。指定範囲は、n=0~238 です。	
イメージ例 238M 		

P 送信プロトコル	
送信プロトコルを指定します。	
0P	プロトコル無し(生データ)
2P	プロトコル無し(USB のデフォルト)
3P	圧縮 H モード(RS232 のデフォルト)
4P	H モード

S ピクセル送信	
ピクセル送信を指定します。ピクセル送信は、一定間隔毎のピクセルのみを送信することで、リザイカリングに対して比例縮小したイメージを送信します。例えば、4S は、縦横共に 4 ピクセル毎に送信します。ピクセルを間引くことで、イメージをより小さくすることができますが、限界点を超すと、使用不可能な価値の無いイメージとなってしまいます。	
1S	全ピクセル送信(デフォルト)
2S	縦横共に 2 ピクセル毎に送信
3S	縦横共に 3 ピクセル毎に送信
イメージ例 1S  イメージ例 2S  イメージ例 3S 	

U ドキュメントイメージフィルタ	
ドキュメントイメージフィルタを指定します。ドキュメントイメージフィルタは、イメージ内のテキストの縁をシャープにし、それ以外の部分を滑らかにします。このフィルタは、ガウス補正と共に使用すべきもので、リーダーをスタンドに設置した状態で、下記のコマンドを使って、イメージ撮影を行います。	
IMGSNP1P0L168W90%32D	
このフィルタは、通常、「E イッジシャープフィルタ」よりも良好な JPEG 圧縮イメージを得ることができます。また、このフィルタは、完全な白黒イメージ(1ビット/ピクセル)を送信する場合にも有効です。	
nS	<u>ドキュメントイメージフィルタ(デフォルト n=0)</u> グレースケールレシオ n を指定します。イメージのコントラストが低い場合は、小さい値を指定します。1U を指定した場合、エッジシャープフィルタを 22E に指定した場合と同様の効果が得られます。標準的なドキュメントイメージの場合、最適設定は、26U です。
イメージ例 0U  イメージ例 26U 	

V 画像ぼかし	
画像ぼかしを指定します。画像ぼかしは、陰影領域と境界線に隣接するピクセルを平均化して滑らかにします。	
0V	画像ぼかし無し(デフォルト)
1V	画像ぼかし有り
イメージ例 画像ぼかし無し  イメージ例 画像ぼかし有り 	

W ヒストグラム送信	
ヒストグラム送信を指定します。ヒストグラムは、イメージの色調範囲(又はキータイト)を簡潔に表したイメージ画像です。低いキータイトは影に、高いキータイトはハイライトに、平均的なキータイトは中間調に詳細が集中します。	
0W	ヒストグラム送信無し(デフォルト)
1W	ヒストグラム送信有り
イメージ例 ヒストグラム送信無し  イメージ例 ヒストグラム送信有り(左側に集中) 	

イメージサイズ
ヒストグラム送信を指定します。ヒストグラムは、イメージの色調範囲(又はキータイト)を簡潔に表したイメージ画像です。低いキータイトは影に、高いキータイトはハイライトに、平均的なキータイトは中間調に詳細が集中します。

11. シリアルコマンド

シリアルコマンドを発行することにより、リーダーの設定変更を行ったり、設定値を取得することができます。シリアルコマンドは、リーダーがRS232Cインターフェイス又はUSBシリアルインターフェイスで接続されている場合にのみ有効です。

尚、メニュー及びクエリコマンドの説明には、下記の記述方法を用いています。

- コマンドのオプション部分は、[]で囲んでいます。
- コマンドのデータ部分(設定値など)は、{ }で囲んでいます

メニューコマンドの書式

下記にメニューコマンドの書式を示します。(見やすいため、スペースを用いていますが、実際にはスペースは入りません)

プレフィックス タグ サブタグ {データ} [, サブタグ {データ}] [; タグ サブタグ {データ} [...] ストレージ

フィールド名	説明								
プレフィックス	プレフィックスは、下記の3バイト固定です。 <table><tr><td>SYN</td><td>M</td><td>CR</td></tr><tr><td>16hex</td><td>4Dhex</td><td>1Dhex</td></tr></table>			SYN	M	CR	16hex	4Dhex	1Dhex
SYN	M	CR							
16hex	4Dhex	1Dhex							
タグ	メニューコマンドグループを識別するための3バイトのグループIDを指定します。大文字・小文字の区別はありません。例えば、RS232Cに関するメニューコマンドグループのグループIDは、下記の3バイトになります。 <table><tr><td>2</td><td>3</td><td>2</td></tr><tr><td>32hex</td><td>33hex</td><td>32hex</td></tr></table>			2	3	2	32hex	33hex	32hex
2	3	2							
32hex	33hex	32hex							
サブタグ	メニューコマンドグループ内のコマンドを識別するための3バイトのコマンドIDを指定します。大文字・小文字の区別はありません。例えば、RS232CのポートのコマンドIDは、下記の3バイトになります。 <table><tr><td>B</td><td>A</td><td>D</td></tr><tr><td>42hex</td><td>41hex</td><td>44hex</td></tr></table>			B	A	D	42hex	41hex	44hex
B	A	D							
42hex	41hex	44hex							
データ	タグ及びサブタグで指定されたメニューコマンドの新しい設定値を指定します。								
ストレージ	コマンドを適用する保存場所を示す下記の何れかのキャラクタ1バイトを指定します。 !(21hex) 揮発性メモリ .(2Ehex) 不揮発性メモリ リーダーの電源を再起動した場合も保持したい設定の場合は、不揮発性メモリを指定します。								

クエリコマンド

クエリコマンドは、現在の設定値など、リーダーから情報を取得したい場合に使用します。下記のクエリコマンドが使用可能です。

^(5Ehex)	対象となるコマンド(設定項目)のデフォルト値を取得
?(3Fhex)	対象となるコマンド(設定項目)の現在の設定値を取得
(2Ahex)	対象となるコマンド(設定項目)の設定値の範囲を取得()
(*)連続した設定範囲の場合は、ダッシュ「-」(2Dhex)、連続しない場合は、パイプ「 」(7Chex)で区切られます。	

タグフィールドの使い方

タグフィールドでクエリコマンドを使用した場合、利用可能なコマンド全てが対象範囲となります。返送される設定値は、ストレージフィールドで指定した保存場所にある値となります。この場合、サブタグ及びデータフィールドは指定しないでください(リーダーは無視します)。

サブタグフィールドの使い方

サブタグフィールドでクエリコマンドを使用した場合、タグフィールドで指定したコマンドグループが対象範囲となります。返送される設定値は、ストレージフィールドで指定した保存場所にある値となります。この場合、データフィールドは指定しないでください(リーダーは無視します)。

データーフィールドの使い方

データーフィールドでクエリコマンドを使用した場合、タグフィールドとサブタグフィールドで指定した特定コマンドのみが対象範囲となります。返送される設定値は、ストレージフィールドで指定した保存場所にある値となります。

複数コマンドの連結方法

複数のコマンドを連結し、1つのプリフィックス-ストレージ-タグとして発行することができます。このタグでは、各コマンドのタグ/サブタグ/データーフィールドのみを繰り返し指定します。新しい追加コマンドを同一タグに対して適用するケースでは、そのコマンドをカンマ(,)で区切り、サブタグ/データーフィールドのみを指定します。また、新しい追加コマンドを異なるタグに対して適用するケースでは、そのコマンドをセミコロン(;)で区切ります。

ハートシェイクキャラクタ

リアルコマンドに対して、リダは、下記の何れかのハートシェイクキャラクタをリプレースメントとしてコマンドコードに挿入して返します。

ACK(06hex)	コマンドを正しく処理しました。
ENQ(05hex)	無効なタグ又はサブタグです。
NAK(15hex)	コマンドは正しいですが、データーフィールドに指定タグ/サブタグの適用範囲外の値が指定されています。

リダは、受信したコマンド-タグをコードバックし、ストレージフィールド又は連結区切り記号(ピリオド, 感嘆符, コマ, セミコロン)の前に、何れかのハートシェイクキャラクタを挿入して返送します。

クエリコマンド例

下記の例では、制御コードを<>で囲んで表示しています(例 <ACK> = 06hex)。

例 1) コーダバ - (NW7) 読み取り設定で設定可能な値は？

コマンド	<SYN>M<CR>cbrena*.
リプレースメント	CBRENA0-1<ACK>.
コーダバ - (NW7) 読み取り設定では、読み取り有り(1)又は無し(0)の設定に限られるため、「0-1」を返送します。	

例 2) コーダバ - (NW7) 読み取り設定のデフォルト値は？

コマンド	<SYN>M<CR>cbrena^.
リプレースメント	CBRENA1<ACK>.
コーダバ - (NW7) 読み取り設定のデフォルト値は、読み取り有り(1)のため、「1」を返送します。	

例 3) コーダバ - (NW7) 読み取り設定の現在設定値は？

コマンド	<SYN>M<CR>cbrena?.
リプレースメント	CBRENA1<ACK>.
コーダバ - (NW7) 読み取り設定の現在設定値が読み取り有り(1)のため、「1」を返送します。	

例 4) コーダバ - (NW7) 関連の全現在設定値は？

コマンド	<SYN>M<CR>cbr?.	
リプレース	CBRDFT<ACK>.	デフォルト値 値無し
	ENA1<ACK>.	コードバ - 読み取り有り(1)
	SSX0<ACK>.	スタート/ストップ 送信無し(0)
	CK20<ACK>.	チェックビット検査無し(0)
	CCT0<ACK>.	連結機能無し(0)
	MIN4<ACK>.	読取最小桁数 4 桁(4)
	MAX60<ACK>.	読取最大桁数 60 桁(60)
	VOT0<ACK>.	読取照合回数 10 回(10)

メニューコマンド リスト

設定項目	設定値 *は、デフォルト値	シリアルコマンド #には、数字を指定
リーダーデフォルト		
カスタムデフォルト	カスタムデフォルトを設定開始	MNUCDF
	カスタムデフォルトを設定終了(保存)	MNUCDS
	カスタムデフォルトで初期化	DEFAULT
インターフェイス		
プラグアンドプレイ	キーボードインターフェイス:IBM AT互換, サフィックスCR	PAP_AT
	キーボードインターフェイス:ノートブック(外付キーボード無し), サフィックスCR	PAPLTD
	RS232Cインターフェイス	PAP232
	USB IBM SurePos ハンドヘルド	PAPSPH
	USB IBM SurePos テーブルトップ	PAPSPT
	USBキーボードインターフェイス(USA)	PAP124
	USBキーボードインターフェイス(MAC)	PAP125
	USBキーボードインターフェイス(日本)	TRMUSB134
	HID POS	PAP131
	USBシリアルインターフェイス	TERMID130
	ACK/NAK ハンドシェイク有り	USBACK1
	ACK/NAK ハンドシェイク無し	USBACK0
	Verifone Ruby Terminal	PAPRBY
	Gilbarco Terminal	PAPGLB
	Honeywell Bioptic Aux Port	PAPBIO
	Datalogic Magellan Bioptic Aux Port	PAPMAG
	NCR Bioptic Aux Port	PAPNCR
	Wincor Nixdorf Terminal	PAPWNX
	Wincor Nixdorf Beetle	PAPBTL
	Wincor Nixdorf RS232 Mode A	PAPWMA
	*USA	KBDCTY0
	アルバニア	KBDCTY35
	アゼルバイジャン(キリル)	KBDCTY81
	アゼルバイジャン(ラテン)	KBDCTY80
	ベルギー	KBDCTY82
	ベルギー	KBDCTY1
国別キーボード	ボスニア	KBDCTY33
	ブラジル	KBDCTY16
	ブラジル(MS)	KBDCTY59
	ブルガリア(キリル)	KBDCTY52
	ブルガリア(ラテン)	KBDCTY53
	カナダ(フレンチカナダ)	KBDCTY54
	カナダ(フレンチ)	KBDCTY18
	カナダ(マルチリンガル)	KBDCTY55
	クロアチア	KBDCTY32
	チェコ	KBDCTY15
	チェコ(フックラマーズ)	KBDCTY40
	チェコ(QWERTY)	KBDCTY39
	チェコ(QWERTZ)	KBDCTY38
	デンマーク	KBDCTY8
	オランダ(Netherlands)	KBDCTY11
	エストニア	KBDCTY41
	ファロ島(Faeroese)	KBDCTY83
	フィンランド	KBDCTY2
	フランス	KBDCTY3
	ゲール	KBDCTY84
	ドイツ	KBDCTY4
	ギリシャ	KBDCTY17
	ギリシャ(220 ラテン)	KBDCTY64
	ギリシャ(220)	KBDCTY61
	ギリシャ(319 ラテン)	KBDCTY65
	ギリシャ(319)	KBDCTY62
	ギリシャ(ラテン)	KBDCTY63
	ギリシャ(MS)	KBDCTY66
	ギリシャ(Polytonic)	KBDCTY60
	ハンガリー	KBDCTY12
	ハンガリー(101 キー)	KBDCTY50
	ハンガリー	KBDCTY19
	アイスランド	KBDCTY75
	アイルランド	KBDCTY73

設定項目	設定値 *は、デフォルト値	シリアルマシント #には、数字を指定
国別キーボード	イタリヤ (142)	KBDCTY56
	イタリヤ	KBDCTY5
	日本(ASCII)	KBDCTY28
	ガザフ	KBDCTY78
	キルギス(キリル)	KBDCTY79
	ラテンアメリカ	KBDCTY14
	ラトヴィア	KBDCTY42
	ラトヴィア(QWERTY)	KBDCTY43
	リトアニア	KBDCTY44
	リトアニア(IBM)	KBDCTY45
	マケドニア	KBDCTY34
	マルタ	KBDCTY74
	モンゴル(キリル)	KBDCTY86
	ノルウェー	KBDCTY9
	ポーランド	KBDCTY20
	ポーランド (214)	KBDCTY57
	ポーランド (ブダペスト)	KBDCTY58
	ポルトガル	KBDCTY13
	ルーマニア	KBDCTY25
	ロシア	KBDCTY26
	ロシア (MS)	KBDCTY67
	ロシア (タイプライタ)	KBDCTY68
	SCS	KBDCTY21
	セルビア(キリル)	KBDCTY37
	セルビア(ラテン)	KBDCTY36
	スロバキア	KBDCTY22
	スロバキア(QWERTY)	KBDCTY49
	スロバキア(QWERTZ)	KBDCTY48
	スロベニア	KBDCTY31
	スペイン	KBDCTY10
	スペイン(Variation)	KBDCTY51
	スウェーデン	KBDCTY23
	スイス(フランス)	KBDCTY29
	スイス(ドイツ)	KBDCTY6
	タタール	KBDCTY85
	トルコ F	KBDCTY27
	トルコ Q	KBDCTY24
	ウクライナ	KBDCTY76
	ユナイテッドキングダム	KBDCTY7
	米国(Dvorak right)	KBDCTY89
	米国(Dvorak left)	KBDCTY88
	米国(Dvorak)	KBDCTY87
	米国(インターナショナル)	KBDCTY30
	ウズベク(キリル)	KBDCTY77
キーボード変換	*大文字・小文字変換無し	KBDCNV0
	全て大文字へ変換	KBDCNV1
	全て小文字へ変換	KBDCNV2
キーボードスタイル	*レギュラー(全てOFF)	KBDSTY0
	Caps Lock ON	KBDSTY1
	Shift Lock ON	KBDSTY2
	Caps Lock 自動	KBDSTY6
	外付キーボード 互換性あり	KBDSTY5
制御キャラクター出力	*制御キャラクター出力無し	KBDNPE0
	制御キャラクター出力あり	KBDNPE1
キーボードモディファイア	*Control+X ON	KBDCAS0
	DOSモード Control+X ON	KBDCAS1
	Windowsモード Control+X ON	KBDCAS2
	Windowsモード プリフィックス/サフィックスON	KBDCAS3
	*ターボモード ON	KBDTMD0
	ターボモード ON	KBDTMD1
	*テンキモード ON	KBDNPS0
	テンキモード ON	KBDNPS1
	*自動タクトリブレイクON	KBDADC0
	自動タクトリブレイクON	KBDADC1

設定項目	設定値 *は、デフォルト値	リアルマント #には、数字を指定
ポート	300bps	232BAD0
	600bps	232BAD1
	1200bps	232BAD2
	2400bps	232BAD3
	4800bps	232BAD4
	9600bps	232BAD5
	19200bps	232BAD6
	38400bps	232BAD7
	57600bps	232BAD8
	*115200bps	232BAD9
データビット,ストップビット,パリティ	7データビット,1ストップビット,パリティ偶数	232WRD3
	7データビット,1ストップビット,パリティ無し	232WRD0
	7データビット,1ストップビット,パリティ奇数	232WRD6
	7データビット,2ストップビット,パリティ偶数	232WRD4
	7データビット,2ストップビット,パリティ無し	232WRD1
	7データビット,2ストップビット,パリティ奇数	232WRD7
	8データビット,1ストップビット,パリティ偶数	232WRD5
	*8データビット,1ストップビット,パリティ無し	232WRD2
	8データビット,1ストップビット,パリティ奇数	232WRD8
	8データビット,1ストップビット,パリティマーク	
RS232 リンクタイムアウト	設定範囲 0~30 秒	232LPT###
RS232 ハンドシェイク	*RTS/CTS コントロール無し	232CTS0
	70-コントロール, タイムアウト無し	232CTS1
	2 方向70-コントロール	232CTS2
	70-コントロール, タイムアウト有り	232CTS3
	RS232 タイムアウト	232DEL####
	*XON/XOFF 無し	232XON0
	XON/XOFF 有り	232XON1
	*ACK/NAK 無し	232ACK0
	ACK/NAK 有り	232ACK1
RS232 ストップモード	RS232 ストップモード 有り	232SDY
Bioptic ハンケットモード	*ハンケットモード オフ	232PKT0
	ハンケットモード オン	232PKT2
Bioptic ACK/NAK モード	*ACK/NAK モード オフ	232NAK0
	ACK/NAK モード オン	232NAK1
Bioptic ACK/NAK タイムアウト	ACK/NAK タイムアウト *5100	232DLK#####
入出力設定		
パワーアップビープ	無し	BEPPWR0
	*有り	BEPPWR1
BEL キャラクタビープ	有り	BELBEP1
	*無し	BELBEP0
トリガ クリックビープ	有り	BEPTRG1
	*無し	BEPTRG0
グッドリードビープ	無し	BEPBEP0
	*有り	BEPBEP1
グッドリードビープ音量	無し	BEPLVL0
	小	BEPLVL1
	中	BEPLVL2
	*大	BEPLVL3
グッドリードビープ周波数	1600Hz (低音) <最小 400Hz>	BEPFQ11600
	*2700Hz (中音)	BEPFQ12700
	4200Hz (高音)	BEPFQ14200
エラービープ周波数	*250Hz (低音) <最小 200Hz>	BEPFQ2250
	3250Hz (中音)	BEPFQ23250
	4200Hz (高音)	BEPFQ24200
グッドリードビープ長さ	*ノーマル	BEPBIP0
	ショート	BEPBIP1
グッドリード LED	無し	BEPLIED0
	*有り	BEPLIED1
エラービープ回数	設定範囲 1~9 (*1)	BEPERR#
グッドリードビープ回数	設定範囲 1~9 (*1)	BEPRPT#
グッドリード遅延	*無し(0 ミリ秒)	DLYGRD0
	500 ミリ秒	DLYGRD500
	1000 ミリ秒	DLYGRD1000
	1500 ミリ秒	DLYGRD1500
	設定範囲 0~30000 ミリ秒	DLYGRD#####

設定項目	設定値 *は、デフォルト値	リアルマシ #には、数字を指定
マルチトリガモード	マルチトリガモード	PAPHHF
LED 照明(マルチトリガモード)	低	PWRNOL15
	中	PWRNOL50
	*高	PWRNOL150
読取タイムアウト(マルチトリガモード)	設定範囲 0~300000 ミリ秒 (*30000 ミリ秒)	TRGST0####
プレゼンテーションモード	プレゼンテーションモード	PAPPST
アイドル LED 照明	低	PWRIDL7
	中	PWRIDL15
	*高	PWRIDL50
プレゼンテーション感度	設定範囲 0~20 (*1)	TRGPMS##
プレゼンテーションセンタリング	有り	PDCWIN1
	*無し	PDCWIN0
	上	PDCTOP
	下	PDCBOT
	左	PDCLFT
	右	PDCRG
低品質コード (1D)	有り	DECLDI1
	*無し	DECLDI0
低品質コード (PDF)	有り	PDFXPR1
	*無し	PDFXPR0
コードゲート	*無し	AOSCGD0
	有り	AOSCGD1
携帯電話読取モード	ハンドヘルドモード	PAPHH
	プレゼンテーションモード	PAPPSC
イメージスナップ&ストップ	イメージスナップ&ストップ	TRGMD6
ハズレフリータイムアウト	設定範囲 0~300000 ミリ秒	TRGPT0#####
2 度読み防止デレイ (1D)	設定範囲 0~30000 ミリ秒 (*750 ミリ秒)	DLYRRD#####
2 度読み防止デレイ (2D)	設定範囲 0~30000 ミリ秒 (*0 ミリ秒<無し>)	DLY2RR#####
キャラクタアクティベーションモード	*無し	HSTCEN0
	有り	HSTCEN1
アクティベーションキャラクタ	*12<DC2>	HSTACH##
キャラクタアクティベーションタイムアウト	設定範囲 1~300000 ミリ秒 (*30000 ミリ秒)	HSTCDT#####
キャラクタデアクティベーションモード	*無し	HSTDEN0
	有り	HSTDEN1
デアクティベーションキャラクタ	*14<DC4>	HSDHC##
LED 照明	*有り	HSTLED1
	無し	HSTLED0
イマーデレイ	設定範囲 0~4000 ミリ秒 (*0 ミリ秒<無し>)	SCNDLY####
イマーモード	無し	SCNAIM0
	*有り(インターレース)	SCNAIM2
センタリングウィンドウ	有り	DECWIN1
	*無し	DECWIN0
	上 (*40%)	DECTOP###
	下 (*60%)	DECBOT###
ノーリード	有り	SHWNRD1
	*無し	SHWNRD0
反転コード読み取り	反転コードのみ読み取り	VIDREV1
	通常コード & 反転コード 両方読み取り	VIDREV2
	*通常コードのみ読み取り無し	VIDREV0
読み取り方向	*通常	ROTATN0
	90° 回転 (CCW)	ROTATN1
	上下反転	ROTATN2
	90° 回転 (CW)	ROTATN3
プリフィックス/サフィックス設定		
全コードシボールサフィックス CR	全コードシボールサフィックス CR	VSUF
プリフィックス	プリフィックス追加	PREBK2##
	1 プリフィックスクリア	PRECL2
	全プリフィックスクリア	PRECA2
サフィックス	サフィックス追加	SUFBK2##
	1 サフィックスクリア	SUFCL2
	全サフィックスクリア	SUFCA2
ファンクションコード送信	有り	RMVFNC0
	無し	RMVFNC1
キャラクタ間デレイ	設定範囲 0~1000 (設定単位 5 ミリ秒)	DLYCRX###

設定項目	設定値 *は、デフォルト値	リアルタイム #には、数字を指定
ファンクション間デレイ	設定範囲 0~1000 (設定単位 5 ミリ秒)	DLYFNC###
メッセージ間デレイ	設定範囲 0~1000 (設定単位 5 ミリ秒)	DLYMSG###
デフォルトマト設定		
デフォルトマトデータ	*デフォルトマト無し	DFMDF3
	デフォルトマト登録開始	DFMBK3##
	1 デフォルトマトクリア	DFMCL3
	全デフォルトマトクリア	DFMCA3
デフォルトマトデータ使用	無し	DFM_EN0
	有り (必須無し・プリフィックス/サフィックス有り)	DFM_EN1
	有り (必須・プリフィックス/サフィックス有り)	DFM_EN2
	有り (必須無し・プリフィックス/サフィックス無し)	DFM_EN3
	有り (必須・プリフィックス/サフィックス無し)	DFM_EN4
基本/代替デフォルトマト	基本デフォルトマト	ALTFNM0
	代替デフォルトマト 1	ALTFNM1
	代替デフォルトマト 2	ALTFNM2
	代替デフォルトマト 3	ALTFNM3
コードシンボル設定		
全コードシンボル	読み取り無し	ALLENA0
	読み取り有り	ALLENA1
コードバー (NW7)	全デフォルト	CBRDFT
	読み取り無し	CBRENA0
	*読み取り有り	CBREAN1
	*スタート/ストップ 送信無し	CBRSSX0
	スタート/ストップ 送信有り	CBRSSX1
	*チェックデジット検査無し	CBRCCK20
	チェックデジット検査 (EJ 10 16) 有り・送信無し	CBRCCK21
	チェックデジット検査 (EJ 10 16) 有り・送信有り	CBRCCK22
	*連結無し	CBRCCT0
	連結有り	CBTCCT1
	連結必須	CBRCCT2
	最小桁数 設定範囲 2~60 (*4)	CBRMIN##
	最大桁数 設定範囲 2~60 (*60)	CBRMAX##
コード 39	全デフォルト	C39DFT
	読み取り無し	C39ENA0
	*読み取り有り	C39ENA1
	*スタート/ストップ 送信無し	C39SSX0
	スタート/ストップ 送信有り	C39SSX1
	*チェックデジット検査無し	C39CK20
	チェックデジット検査有り・送信無し	C39CK21
	チェックデジット検査有り・送信有り	C39CK22
	最小桁数 設定範囲 0~48 (*0)	C39MIN##
	最大桁数 設定範囲 0~48 (*48)	C39MAX##
	*PAコード無し	C39APP0
	PAコード有り	C39APP1
	*PARAF 無し	C39B320
	PARAF 有り	C39B321
	*フルアスキー無し	C39ASC0
	フルアスキー有り	C39ASC1
インタープリント 2/5	コードバース	C39DCP
	全デフォルト	I25DFT
	読み取り無し	I25ENA0
	*読み取り有り	I25ENA1
	*チェックデジット検査無し	I25CK20
	チェックデジット検査有り・送信無し	I25CK21
	チェックデジット検査有り・送信有り	I25CK22
	最小桁数 設定範囲 2~80 (*4)	I25MIN##
NEC 2/5	最大桁数 設定範囲 2~80 (*80)	I25MAX##
	全デフォルト	N25DFT
	読み取り無し	N25ENA0
	*読み取り有り	N25ENA1
	*チェックデジット検査無し	N25CK20
	チェックデジット検査有り・送信無し	N25CK21
	チェックデジット検査有り・送信有り	N25CK22
	最小桁数 設定範囲 2~80 (*4)	N25MIN##
	最大桁数 設定範囲 2~80 (*80)	N25MAX##

設定項目	設定値 *は、デフォルト値	リアルマシ #には、数字を指定
コード 93	全デフォルト	C93DFT
	*読み取り無し	C93ENA0
	読み取り有り	C93ENA1
	最小桁数 設定範囲 0~80(*0)	C93MIN##
	最大桁数 設定範囲 0~80(*80)	C93MAX##
	*アプリ無し	C93APP0
	アプリ有り	C93APP1
	コード-2	C93DCP
インタストリアル 2/5	全デフォルト	R25DFT
	*読み取り無し	R25ENA0
	読み取り有り	R25ENA1
	最小桁数 設定範囲 1~48(*4)	R25MIN##
	最大桁数 設定範囲 1~48(*48)	R25MAX##
IATA 2/5	全デフォルト	A25DFT
	*読み取り無し	A25ENA0
	読み取り有り	A25ENA1
	最小桁数 設定範囲 1~48(*4)	A25MIN##
	最大桁数 設定範囲 1~48(*48)	A25MAX##
マトリクス 2/5	全デフォルト	X25DFT
	*読み取り無し	X25ENA0
	読み取り有り	X25ENA1
	最小桁数 設定範囲 1~80(*4)	X25MIN##
	最大桁数 設定範囲 1~80(*48)	X25MAX##
コード 11	全デフォルト	C11DFT
	*読み取り無し	C11ENA0
	読み取り有り	C11ENA1
	1 チェックデジット	C11CK20
	*2 チェックデジット	C11CK21
	最小桁数 設定範囲 1~80(*4)	C11MIN##
	最大桁数 設定範囲 1~80(*48)	C11MAX##
コード 128	全デフォルト	128DFT
	読み取り無し	128ENA0
	*読み取り有り	128ENA1
	*ISBT 連結無し	ISBENA0
	ISBT 連結有り	ISBENA1
	最小桁数 設定範囲 0~80(*0)	128MIN##
	最大桁数 設定範囲 0~80(*80)	128MAX##
	*アプリ無し	128APP0
	アプリ有り	128APP1
	コード-2(*2)	128DCP##
GS1-128	全デフォルト	GS1DFT
	読み取り無し	GS1ENA0
	*読み取り有り	GS1ENA1
	最小桁数 設定範囲 0~80(*0)	GS1MIN##
	最大桁数 設定範囲 0~80(*80)	GS1MAX##
UPC-A	全デフォルト	UPADFT
	読み取り無し	UPBENA0
	*読み取り有り	UPBENA1
	チェックデジット検査無し	UPACKX0
	*チェックデジット検査有り	UPACKX1
	システム-送信無し	UPANSX0
	*システム-送信有り	UPANSX1
	*アド 2 無し	UPAAD20
	アド 2 有り	UPAAD21
	*アド 5 無し	UPAAD50
	アド 5 有り	UPAAD51
	*アド 必須読み取り無し	UPAARQ0
	アド 必須読み取り有り	UPAARQ1
	アド オンパレータ無し	UPAADS0
	*アド オンパレータ有り	UPAADS1
	*UPC-A/EAN-13 拡張コード無し	CPNENA0
	UPC-A/EAN-13 拡張コード 連結許可	CPNENA1
	UPC-A/EAN-13 拡張コード 連結必須	CPNENA2
	コード GS1 出力無し	CPNGS10
	コード GS1 出力有り	CPNGS11

設定項目	設定値 *は、デフォルト値	シリアルマウント #には、数字を指定
UPC-E	全デフォルト	UPEDFT
	読み取り無し	UPEENA0
	*読み取り有り	UPEENA1
	*拡張無し	UPEEXP0
	拡張有り	UPEEXP1
	*アドオン必須読み取り無し	UPEARQ0
	アドオン必須読み取り有り	UPEARQ1
	アドオンバレータ無し	UPEADS0
	*アドオンバレータ有り	UPEADS1
	チェックデジット検査無し	UPECKX0
	*チェックデジット検査有り	UPECKX1
	先頭0送信無し	UPENSX0
	先頭0送信有り	UPENSX1
	*アドオン2無し	UPEAD20
	アドオン2有り	UPEAD21
	*アドオン5無し	UPEAD50
	アドオン5有り	UPEAD51
	*UPC-E1読み取り無し	UPEEN10
	UPC-E1読み取り有り	UPEEN11
EAN/JAN-13	全デフォルト	E13DFT
	読み取り無し	E13ENA0
	*読み取り有り	E13ENA1
	UPC-A/EAN-13変換無し	UPAENA0
	UPC-A/EAN-13変換有り	UPAENA1
	チェックデジット検査無し	E13CKX0
	*チェックデジット検査有り	E13CKX1
	*アドオン2無し	E13AD20
	アドオン2有り	E13AD21
	*アドオン5無し	E13AD50
	アドオン5有り	E13AD51
	*アドオン必須読み取り無し	E13ARQ0
	アドオン必須読み取り有り	E13ARQ1
	アドオンバレータ無し	E13ADS0
	*アドオンバレータ有り	E13ADS1
	ISBN変換無し	E13ISB0
	ISBN変換有り	E13ISB1
EAN/JAN-8	全デフォルト	EA8DFT
	読み取り無し	EA8ENA0
	*読み取り有り	EA8ENA1
	チェックデジット検査無し	EA8CKX0
	*チェックデジット検査有り	EA8CKX1
	*アドオン2無し	EA8AD20
	アドオン2有り	EA8AD21
	*アドオン5無し	EA8AD50
	アドオン5有り	EA8AD51
	*アドオン必須読み取り無し	EA8ARQ0
	アドオン必須読み取り有り	EA8ARQ1
	アドオンバレータ無し	EA8ADS0
	*アドオンバレータ有り	EA8ADS1
	全デフォルト	MSIDFT
MSI	*読み取り無し	MSIENA0
	読み取り有り	MSIENA1
	*チェックデジット検査(タイプ10)有り・送信無し	MSICKH0
	チェックデジット検査(タイプ10)有り・送信有り	MSICKH1
	チェックデジット検査(2タイプ10)有り・送信無し	MSICKH2
	チェックデジット検査(2タイプ10)有り・送信有り	MSICKH3
	チェックデジット検査(タイプ11)有り・送信無し	MSICKH4
	チェックデジット検査(タイプ11)有り・送信有り	MSICKH5
	チェックデジット計算無し・送信無し	MSICKH6
	最小桁数 設定範囲 4~48(*4)	MSIMIN##
	最大桁数 設定範囲 4~48(*48)	MSIMAX##

設定項目	設定値 *は、デフォルト値	リアルマシド #には、数字を指定
GS1 Databar Omnidirectional	全デフォルト	RSSDFT
	読み取り無し	RSEENA0
	*読み取り有り	RSEENA1
GS1 Databar Limited	全デフォルト	RSLDFT
	読み取り無し	RSEENA0
	*読み取り有り	RSEENA1
GS1 Expanded	全デフォルト	RSEDFT
	読み取り無し	RSEENA0
	*読み取り有り	RSEENA1
	最小桁数 設定範囲 4~74 (*4)	RSEMIN##
	最大桁数 設定範囲 4~74 (*74)	RSEMAX##
Trioptic Code	*読み取り無し	TRIENA0
	読み取り有り	TRIENA1
Codablock A	全デフォルト	CBADFT
	*読み取り無し	CBAENA0
	読み取り有り	CBAENA1
	最小桁数 設定範囲 1~600 (*1)	CBAMIN##
	最大桁数 設定範囲 1~600 (*600)	CBAMAX##
Codablock F	全デフォルト	CBFDFT
	*読み取り無し	CBFENA0
	読み取り有り	CBFENA1
	最小桁数 設定範囲 1~2048 (*1)	CBFMIN##
	最大桁数 設定範囲 1~2048 (*2048)	CBFMAX##
PDF417	全デフォルト	PDFDFT
	読み取り無し	PDFENA0
	*読み取り有り	PDFENA1
	最小桁数 設定範囲 1~2750 (*1)	PDFMIN##
	最大桁数 設定範囲 1~2750 (*2750)	PDFMAX##
MacroPDF417	読み取り無し	PDFMAC0
	*読み取り有り	PDFMAC1
MicroPDF417	全デフォルト	MPDDFT
	*読み取り無し	MPDENA0
	読み取り有り	MPDENA1
	最小桁数 設定範囲 1~366 (*1)	MPDMIN##
	最大桁数 設定範囲 1~366 (*366)	MPDMAX##
GS1 Composite	*読み取り無し	COMENA0
	読み取り有り	COMENA1
	*UPC/EAN バーコード無し	COMUPC0
	UPC/EAN バーコード無し	COMUPC1
	最小桁数 設定範囲 1~2435 (*1)	COMMIN##
	最大桁数 設定範囲 1~2435 (*2435)	COMMAX##
GS1 ミニバーコード	GS1-128 ミニバーコード	EANEMU1
	GS1 Databar ミニバーコード	EANEMU2
	GS1 コード 拡張無し	EANEMU3
	EAN-8/EAN-13 変換	EANEMU4
	GS1 ミニバーコード無し	EANEMU0
TCIF Linked Code 39	*読み取り無し	T39ENA0
	読み取り有り	T39ENA1
QR コード	全デフォルト	QRCDFT
	読み取り無し	QRCENA0
	*読み取り有り	QRCENA1
	最小桁数 設定範囲 1~7089 (*1)	QRCMIN##
	最大桁数 設定範囲 1~7089 (*7089)	QRCMAX##
	マシド無し	QRCAPP0
	*マシド有り	QRCAPP1
	コード マシド (*3)	QRCDCP##
Data Matrix	全デフォルト	IDMDFT
	読み取り無し	IDMENA0
	*読み取り有り	IDMENA1
	最小桁数 設定範囲 1~3116 (*1)	IDMMIN##
	最大桁数 設定範囲 1~3116 (*3116)	IDMMAX##
	マシド無し	IDMAPP0
	*マシド有り	IDMAPP1
	コード マシド (*51)	IDMDCP##

設定項目	設定値 *は、デフォルト値	リアルマシ #には、数字を指定
MaxiCode	全デフォルト	MAXDFT
	読み取り無し	MAXENA0
	*読み取り有り	MAXENA1
	最小桁数 設定範囲 1~150(*1)	MAXMIN##
	最大桁数 設定範囲 1~150(*150)	MAXMAX##
Aztec Code	全デフォルト	AZTDFT
	読み取り無し	AZTENA0
	*読み取り有り	AZTENA1
	最小桁数 設定範囲 1~3832(*1)	AZTMIN##
	最大桁数 設定範囲 1~3832(*3832)	AZTMAX##
	パッド無し	AZTAPP0
	*パッド有り	AZTAPP1
Chinese Sensible Code	コードなし(*51)	AZTDCP##
	全デフォルト	HX_DFT
	読み取り無し	HX_ENA0
	*読み取り有り	HX_ENA1
	最小桁数 設定範囲 1~7833(*1)	HX_MIN##
	最大桁数 設定範囲 1~7833(*7833)	HX_MAX##
郵便コード(2D)		
2D 郵便コード	*読み取り無し	POSTAL0
シングル 2D 郵便コード	オーストラリア郵便コード 読み取り有り	POSTAL1
	英国郵便コード 読み取り有り	POSTAL7
	カナダ 読み取り有り	POSTAL30
	インテリジ エントメールコード 読み取り有り	POSTAL10
	日本郵便コード 読み取り有り	POSTAL3
	KIX 郵便コード 読み取り有り	POSTAL4
	Planet 郵便コード 読み取り有り	POSTAL5
	Postal-4i 読み取り有り	POSTAL9
	Postnet 読み取り有り	POSTAL6
	Postnet with B&B' Fileds 読み取り有り	POSTAL11
	InfoMail 読み取り有り	POSTAL2
	InfoMail&英国郵便コード 読み取り有り	POSTAL8
コンビネーション 2D 郵便コード	インテリジ エントメールコード & Postnet with B&B' Fileds 読み取り有り	POSTAL20
	Postnet&Postal-4i 読み取り有り	POSTAL14
	Postnet&インテリジ エントメールコード 読み取り有り	POSTAL16
	Postal-4i&インテリジ エントメールコード 読み取り有り	POSTAL17
	Postal-4i&Postnet with B&B' Fileds 読み取り有り	POSTAL19
	Planet&Postnet 読み取り有り	POSTAL12
	Planet&Postnet with B&B' Fileds 読み取り有り	POSTAL18
	Planet&Postal-4i 読み取り有り	POSTAL13
	Planet&インテリジ エントメールコード 読み取り有り	POSTAL15
	Planet, Postnet, Postal-4i 読み取り有り	POSTAL21
	Planet, Postnet, インテリジ エントメールコード 読み取り有り	POSTAL22
	Planet, Postal-4i, インテリジ エントメールコード 読み取り有り	POSTAL23
	Postnet, Postal-4i, インテリジ エントメールコード 読み取り有り	POSTAL24
	Planet, インテリジ エントメールコード, Postnet with B&B' Fileds 読み取り有り	POSTAL25
	Planet, Postal-4i, Postnet with B&B' Fileds 読み取り有り	POSTAL26
	Postal-4i, インテリジ エントメールコード, Postnet with B&B' Fileds 読み取り有り	POSTAL27
	Planet, Postal-4i, インテリジ エントメールコード 読み取り有り	POSTAL28
	Planet, Postal-4i, インテリジ エントメールコード, Postnet with B&B' Fileds 読み取り有り	POSTAL29
Planet チェックゲジット	*送信無し	PLNCKX0
	送信有り	PLNCKX1
Postnet チェックゲジット	*送信無し	NETCKX0
	送信有り	NETCKX1
オーストラリア郵便コード インタープリテーション	バー出力	AUSINT0
	数字 N テーブル	AUSINT1
	英数字 C テーブル	AUSINT2
	コンビネーション N&C テーブル	AUSINT3

設定項目	設定値 *は、デフォルト値	リアルマシ #には、数字を指定
郵便コード (1D)		
中国郵便コード (香港 2/5)	全デフォルト	CPCDFT
	*読み取り無し	CPCENA0
	読み取り有り	CPCENA1
	最小桁数 設定範囲 2~80 (*4)	CPCMIN##
	最大桁数 設定範囲 2~80 (*80)	CPCMAX##
韓国郵便コード	全デフォルト	KPCDFT
	*読み取り無し	KPCENA0
	読み取り有り	KPCENA1
	最小桁数 設定範囲 2~80 (*4)	KPCMIN##
	最大桁数 設定範囲 2~80 (*80)	KPCMAX##
	チェックデジット送信無し	KPCCHK0
	チェックデジット送信有り	KPCCHK1
イメージコマンド		
イメージスナップ	全デフォルト	IMGDFT
	イメージスタイル : デコーディング	SNPSTY0
	イメージスタイル : 写真	SNPSTY1
	イメージスタイル : マニアル	SNPSTY2
	*ビープ無し	SNPBEP0
	ビープ有り	SNPBEP1
	*トリガ待ち無し	SNPTRG0
	トリガ待ち有り	SNPTRG1
	*LED照明無し	SNPLED0
	LED照明有り	SNPLED1
	露出 1~7874 ミリ秒	SNPEXP##
	*ゲイン : 無し	SNPGAN1
	ゲイン : 中	SNPGAN2
	ゲイン : 大	SNPGAN4
	ゲイン : 最大	SNPGAN8
	ターゲットホワイト値 0~255 (*125)	SNPWHT###
	許容デルタ 0~255 (*25)	SNPDEL###
	更新回数 0~10 (*6)	SNPTRY##
	ターゲットインバーステンジ 1~99 (*50)	SNPPCT##
イメージシフ	*無限遠フィルタ無し	IMGINF0
	無限遠フィルタ有り	IMGINF1
	*補正無し	IMGCOR0
	補正有り	IMGCOR1
	*ビット濃度 8ビット/ピクセル	IMGBPP8
	ビット濃度 1ビット/ピクセル (白黒)	IMGBPP1
	エッジシャープフィルタ無し	IMGEDG0
	エッジシャープフィルタ 0~23	IMGEDG##
	*ファイルフォーマット : JPEG	IMGFMT6
	ファイルフォーマット : KIM	IMGFMT0
	ファイルフォーマット : TIFF バイナリ	IMGFMT1
	ファイルフォーマット : TIFF バイナリグループ 4, 圧縮	IMGFMT2
	ファイルフォーマット : TIFF グレースケール	IMGFMT3
	ファイルフォーマット : 非圧縮バイナリ	IMGFMT4
	ファイルフォーマット : 非圧縮グレースケール	IMGFMT5
	ファイルフォーマット : BMP	IMGFMT8
	*ヒストグラムストレッチ無し	IMGHIS0
	ヒストグラムストレッチ有り	IMGHIS1
	*ノイズ低減無し	IMGFSP0
	ノイズ低減有り	IMGFSP1
	イメージ反転 X 軸	IMGNVX1
	イメージ反転 Y 軸	IMGNVY1
	イメージ回転無し (デフォルト)	IMGROT0
	イメージ 90° 右回転	IMGROT1
	イメージ 180° 回転 (上下反転)	IMGROT2
	イメージ 90° 左回転	IMGROT3
	JPEG イメージ品質 0~100 (*50)	IMGJQF###
	*ガンマ補正無し	IMGGAM0
	ガンマ補正有り 0~1000 (*0)	IMGGAM####
	イメージ切り取り : 左端 0~639 (*0)	IMGWNL###
	イメージ切り取り : 右端 0~639 (*639)	IMGWNR###
	イメージ切り取り : 上端 0~479 (*0)	IMGWNT###

設定項目	設定値 *は、デフォルト値	リアルマント #には、数字を指定
イメージシフ	イメージ切り取り：下端 0~479 (*479)	IMGWNB###
	イメージ切り取り：マージン 0~238 (*0)	IMGMAR###
	送信ポート：ポート無し(生データ)	IMGXFR0
	送信ポート：ポート無し(*USB のデフォルト)	IMGXFR2
	送信ポート：圧縮 H モード (*RS232 のデフォルト)	IMGXFR3
	送信ポート：H モード	IMGXFR4
	*ビット送信：全ビット送信	IMGSUB1
	ビット送信：縦横共に 2 ビット毎に送信	IMGSUB2
	ビット送信：縦横共に 3 ビット毎に送信	IMGSUB3
	*ドキュメントイメージフィルタ無し	IMGUSG0
	ドキュメントイメージフィルタ有り 0~255 (*0)	IMGUSH###
	*ヒストグラム送信無し	IMGHST0
	ヒストグラム送信有り	IMGHST1
イメージサイズ 互換性	VGA	IMGVGA1
	ネイティブ	IMGVGA0
ユーティリティ		
全シリアルにプリフィックスとしてコード ID を付加(デフォルト)		PRECA2, BK2995C80!
データリビジョン取得		REV_DR
スキャンライバリビジョン取得		REV_SD
ソフトウェアリビジョン取得		REVINF
データフォーマット取得		DFMBK3?
テストメニュー送信	有効	TSTMNU1
	*無効	TSTMNU0
プラグインアプリケーション	*デコードインクアプリケーション有効	PLGDCE1
	デコードインクアプリケーション無効	PLGDCE0
	*フォーマッティングアプリケーション有効	PLGF0E1
	*フォーマッティングアプリケーション無効	PLGF0E0
	アプリケーションリスト取得	PLGINF
工場デフォルト	カスタムデフォルト削除	DEFOVR
	デフォルト初期化	DEFAULT

12. システムコマンド

本章では、リーダーがサポートしている幾つかのシステムコマンドを紹介します。

プリフィックスとしてコード ID を付加

下記のコードをスキャンすると、プリフィックスとしてコード ID が全コードシリアルに対して一時的に付加されます。これは、テストを目的とした一時的な設定であるため、リーダーの電源を落とすと、元の設定に復帰します。コード ID については、「補足 A. コードシリアル表」を参照ください。



デコードレジション取得

下記のコードをスキャンすると、リーダーは、デコードレジションを出力します。



スキャンライバレジション取得

下記のコードをスキャンすると、リーダーは、スキャンライバレジションを出力します。スキャンライバは、イメージキャプチャ制御を行います。



ソフトウェアレジション取得

下記のコードをスキャンすると、リーダーは、ソフトウェアレジションを出力します。ソフトウェアレジションには、2次元コードリーダーエンジンのシリアル番号などエンジンに関する情報が含まれます。



データフォーマット取得

下記のコードをスキャンすると、現在のデータフォーマット設定を出力します。



テストメニュー送信

「テストメニュー送信 有り」に設定すると、リーダーは、スキャンしたプラグインコードの内容を送信します。この場合でも、設定は有効です。特殊な機能なため、通常の業務では使用することはありません。



デフォルト初期化

カスタムデフォルト又は工場デフォルトで初期化します。工場デフォルトで初期化したい場合は、先に登録されているカスタムデフォルト値を削除してください。



プラグインアプリケーション

リーダーには、お客様のニーズに合わせたプラグインアプリケーションをインストールすることができます。インストールしたアプリケーションは、下記のコードで有効・無効を切り替えることができます。設定変更を行った場合、リーダーの電源をリセットする必要があります。



13. トラブルシューティング

電源が入らない

- ケーブルは正しく接続されていますか？
- AC アダプタ (RS232C タイプ) は正しく接続されていますか？
- PC の電源 (キーボード / USB タイプ) は入っていますか？

コードを読み取らない

- 対象コードの品質は悪くないですか？ 汚れたコード、劣化したプリンタで印刷したコード、複写コードなど、品質の悪いコードは読取不良や誤読の原因となります。
- 対象のコード種を読み取れるように設定していますか？
- チェックデジットが付加されていないバーコードに対して、「チェックデジット検査有り」と設定していませんか？
- 最小読取桁数・最大読取桁数の設定は、対象コードの桁数に合っていますか？
- 読取窓は汚れていませんか？

コードを読み取りづらい

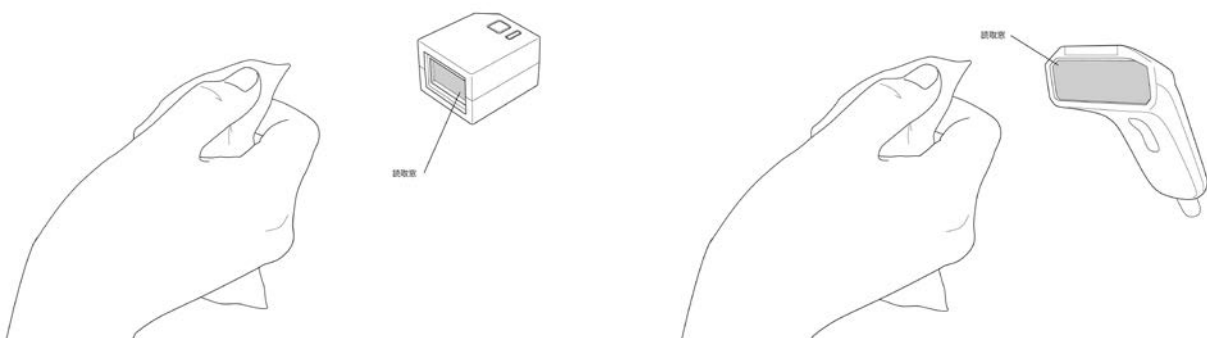
- 対象コードの品質は悪くないですか？ 品質の悪いコードは読取不良や誤読の原因となります。
- 読取窓は汚れていませんか？

PC にデータが入らない

- ケーブルは正しく接続されていますか？
- リーダのインターフェイス設定は間違っていないですか？

その他

- リーダの読取窓が汚れていると、コードの読み取りに時間がかかったり、読めなくなる場合があります。定期的にアルコールなどを湿らせた柔らかい布で拭くようにしてください。



症状に変化がない場合は、弊社又はお近くの販売店までご連絡ください。

補足 A. コードシリアル表

A.1. 1 次元コードシリアル&特殊コード

コードシリアル名	AIM コード ID		標準コード ID	
	ID	モディファイア(m)	ID	Hex
全シリアル				99
コードバー(NW7)	]Fm	0-1	a	61
コード 11	]H3		h	68
コード 128	]Cm	0, 1, 2, 4	j	6A
コード 32 Pharmaceutical(PARAF)	]X0		<	3C
コード 39(サポートフルアスキーモード)	]Am	0, 1, 3, 4, 5, 7	b	62
TLC39(TCIF Liked コード 39)	]L2		T	54
コード 93(93i)	]Gm	0-9, A-Z, a-m	i	69
EAN/JAN	]Em	0, 1, 3, 4	d	64
EAN-13(Bookland EAN 含む)	]E0		d	64
EAN-13 プトオ	]E3		d	64
EAN-13 拡張ケーホコード	]E3		d	64
EAN-8	]E4		D	44
EAN-8 プトオ	]E3		D	44
GS1				
GS1 Databar	]em	0	y	79
GS1 Databar Limited	]em		{	7B
GS1 Databar Expanded	]em		}	7D
GS1-128	]C1		I	49
2 オブ 5				
China Post(Hong Kong 2 オブ 5)	]X0		Q	51
インタープット 2 オブ 5	]Im	0, 1, 3	e	65
マトリクス 2 オブ 5	]X0		m	6D
NEC 2 オブ 5	]X0		Y	59
ストリート 2 オブ 5 IATA	]Rm	0, 1, 3	f	66
インダストリアル 2 オブ 5	]S0		f	66
MSI	]Mm		g	67
Telepen	]Bm		t	74
UPC		0, 1, 2, 3, 8, 9, A, B, C		
UPC-A	]E0		c	63
UPC-A プトオ	]E3		c	63
UPC-A 拡張ケーホコード	]E3		c	63
UPC-E	]E0		E	45
UPC-E プトオ	]E3		E	45
UPC-E1	]X0		E	45
特殊コード				
標準コード ID				5C80
AIM コード ID				5C81
バックスラッシュ(¥マーク)				5C5C
パッチモード 数量			5	35

A.2. 2次元コード シンボル

シンボル名	AIM コード ID		標準コード ID	
	ID	モディファイア(m)	ID	Hex
全シンボル				99
Aztec コード	]zm	0-9, A-C	z	7A
Chinese Sensible コード	]X0		H	48
Codablock A	]06	0, 1, 4, 5, 6	V	56
Codablock F	]0m	0, 1, 4, 5, 6	q	71
コード 49	]Tm	0, 1, 2, 4	l	6C
Data Matrix	]dm	0-6	w	77
GS1	]em	0-3	y	79
GS1 Composite	]em	0-3	y	79
GS1 Databar omnidirectional	]em		y	79
MaxiCode	]Um	0-3	x	78
PDF417	]Lm	0-2	r	72
MicroPDF417	]Lm	0-5	R	52
QR コード	]Qm	0-6	s	73
マイクロ QR コード	]Qm		s	73

A.3. 郵便コード シンボル

シンボル名	AIM コード ID		標準コード ID	
	ID	モディファイア(m)	ID	Hex
全シンボル				99
Australian Post	]X0		A	41
British Post	]X0		B	42
Canadian Post	]X0		C	43
China Post	]X0		Q	51
InfoMail	]X0		,	2C
Intelligent Mail Bar Code	]X0		M	4D
Japanese Post(日本郵便コード)	]X0		J	4A
KIX Post	]X0		K	4B
Korea Post	]X0		?	3F
Planet Code	]X0		L	4C
Postal-4i	]X0		N	4E
Postnet	]X0		P	50

補足 B. ASCII コード 変換表

(*)CTRL-X モード は、OS 及びアプリケーションに依存します。

コントロールキャラクタ(ファンクションコード)					
Dec	Hex	Char	CTRL+X モード オフ(KBDCAS0)	CTRL+X モード オン(KBDCAS1)	
				CTRL+X	機能
0	00	NUL	Reserved	CTRL+@	
1	01	SOH	テンキー Enter	CTRL+A	全て選択
2	02	STX	Caps Lock	CTRL+B	太字
3	03	ETX	ALT メイク	CTRL+C	北° -
4	04	EOT	ALT ブレイク	CTRL+D	ブックマーク
5	05	ENQ	CTRL メイク	CTRL+E	中央寄せ
6	06	ACK	CTRL ブレイク	CTRL+F	検索
7	07	BEL	Enter/Return	CTRL+G	
8	08	BS	(Apple メイク)	CTRL+H	履歴
9	09	HT	Tab	CTRL+I	斜体
10	0A	VF	(Apple ブレイク)	CTRL+J	両端揃え
11	0B	VT	Tab	CTRL+K	ハイパーリンク
12	0C	FF	Delete	CTRL+L	リスト, 左寄せ
13	0D	CR	Enter/Return	CTRL+M	
14	0E	SO	Insert	CTRL+N	新規作成
15	0F	SI	ESC	CTRL+O	開く
16	10	DLE	F11	CTRL+P	印刷
17	11	DC1	Home	CTRL+Q	終了
18	12	DC2	PrtScn	CTRL+R	
19	13	DC3	Backspace	CTRL+S	保存
20	14	DC4	Back Tab	CTRL+T	
21	15	NAK	F12	CTRL+U	
22	16	SYN	F1	F1	貼り付け
23	17	ETB	F2	CTRL+W	
24	18	CAN	F3	CTRL+X	
25	19	EM	F4	CTRL+Y	
26	1A	SUB	F5	CTRL+Z	
27	1B	ESC	F6	CTRL+[	
28	1C	FS	F7	CTRL+¥	
29	1D	GS	F8	CTRL+]	
30	1E	RS	F9	CTRL+^	
31	1F	US	F10	CTRL+-	
127	7F		テンキー Enter		

印刷可能キャラクタ								
Dec	Hex	Char	Dec	Hex	Char	Dec	Hex	Char
32	20	Space	64	40	@	96	60	`
33	21	!	65	41	A	97	61	a
34	22	"	66	42	B	98	62	b
35	23	#	67	43	C	99	63	c
36	24	\$	68	44	D	100	64	d
37	25	%	69	45	E	101	65	e
38	26	&	70	46	F	102	66	f
39	27	'	71	47	G	103	67	g
40	28	(	72	48	H	104	68	h
41	29	)	73	49	I	105	69	i
42	2A	*	74	4A	J	106	6A	j
43	2B	+	75	4B	K	107	6B	k
44	2C	,	76	4C	L	108	6C	l
45	2D	-	77	4D	M	109	6D	m
46	2E	.	78	4E	N	110	6E	n
47	2F	/	79	4F	O	111	6F	o
48	30	0	80	50	P	112	70	p
49	31	1	81	51	Q	113	71	q
50	32	2	82	52	R	114	72	r
51	33	3	83	53	S	115	73	s
52	34	4	84	54	T	116	74	t
53	35	5	85	55	U	117	75	u
54	36	6	86	56	V	118	76	v
55	37	7	87	57	W	119	77	w
56	38	8	88	58	X	120	78	x
57	39	9	89	59	Y	121	79	y
58	3A	:	90	5A	Z	122	7A	z
59	3B	;	91	5B	[	123	7B	{
60	3C	<	92	5C	¥	124	7C	
61	3D	=	93	5D	]	125	7D	}
62	3E	>	94	5E	^	126	7E	~
63	3F	?	95	5F	_	127	7F	

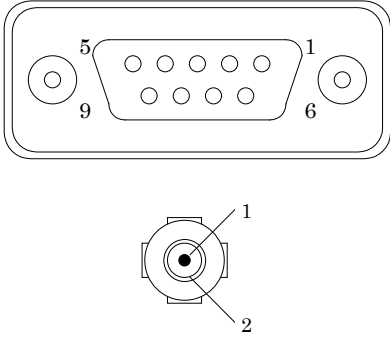
104 キーボード (米国)

105 キーボード (欧州)

補足 D. RS232C インターフェイスのピン配列

下記に RS232C インターフェイスのピン配列を示します。

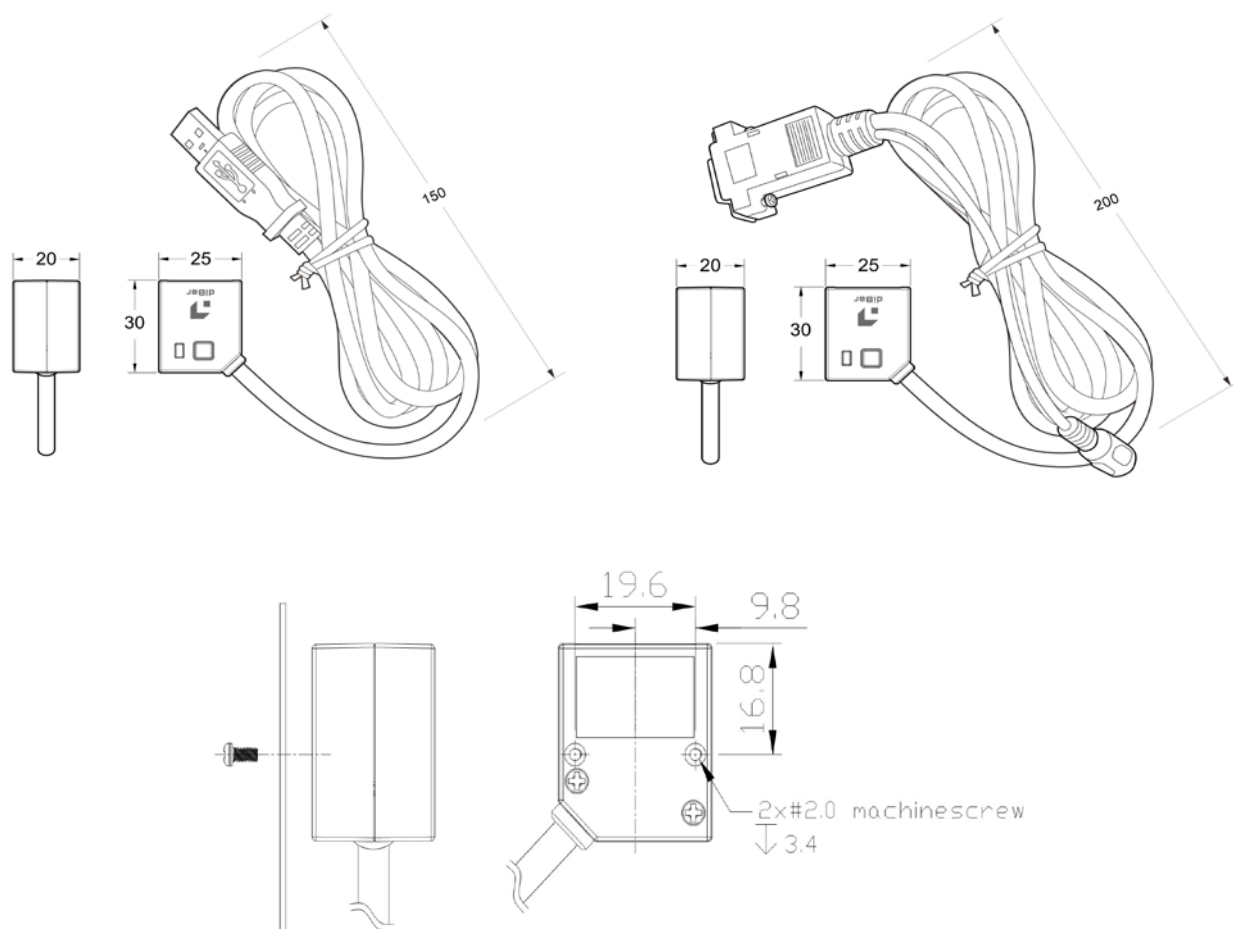
D-Sub9P 接続	
ピン番号	信号名
1	外部トリガ (藍)
2	TxD (白)
3	RxD (緑)
5	GND (黒・シールド)
7	CTS (黄)
8	RTS (橙)
9	VCC (赤)
電源接続	
ピン番号	信号名
1	VCC (+5V)
2	GND



(*1) 外部トリガ は、cubeQR のみ対応しています。

補足 E. cubeQR の外形寸法と取付寸法

下記に外形寸法と取付寸法に関する説明を示します。



単位 mm

【取付寸法に関する注意】

1. 取付寸法のねじ込みの深さは、3mm を超えてはいけません。
2. 取付寸法自体の長さは、取付面の厚みを考慮して決定してください。例えば、取付面の厚みが 1mm の場合は、長さが 4mm 以下の寸法を使用します。

補足 F. サンプルコード

UPC-A



インターリーブド 25



コード 128



EAN/JAN-13



コード 39



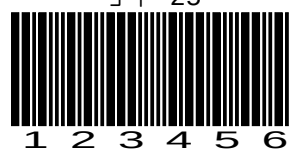
コードバース (NW7)



コード 93



コード 25



PDF417



MicroPDF417



QRコード



データマトリクス



日本郵便コード (カスタムコード)



修理依頼書

修理を依頼される場合は、下記の用紙に必要事項を記入し、修理品と一緒に販売店へご返送ください。尚、修理は全てドバツ方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

修理依頼書			
依頼日			
会社名			
部署名			
担当者			
メールアドレス			
電話番号		FAX番号	
ご住所			
販売店名		ご購入日	
製品型番（名称）			
製造番号（S/N）			
付属品	ケーブル[]・ACアダプタ		
トラブルの症状を詳しく記入してください。 また、症状を確認するために必要なバーコードラベルや磁気カード等があれば、修理品に添付してお送りください。 症状発生頻度 : ☐ 常に起こる ☐ 1日に[]回程度 インターフェイス : ☐ キーボード ☐ RS232C ☐ USB ☐ その他 [] 接続ホスト : メーカー [] 型番 [] その他、使用状況を記入ください。			
返送先			
見積・請求先			
スポットサービス時は、修理見積後に修理をキャンセルされた場合に限り、見積料として弊社所定の料金を申し受けます。ご了承いただける場合は、押印の上、修理品に添付してご返送ください。			ご確認印